

宇部市石炭記念館あり方検討委員会について

1 委員会設置の目的

- ・宇部市発展の礎となった石炭産業の歴史を後世に伝えていく上で、幅広い意見を取り入れて石炭記念館のあり方を検討する。

2 委員の構成

- ・構成員数:13人 学識経験者2人、企業代表者2人、団体代表者5人、行政機関2人、公募2人

3 委員会の開催状況

(1) 第1回検討委員会

- ① 日時:令和5年2月13日(月)14時～16時
- ② 内容
 - 1) 委員長・副委員長の選出
 - 2) 石炭記念館視察
 - 3) 議題
 - ・石炭記念館の原状と問題点
 - ・他市の石炭産業関連博物館施設の現状

(2) 第2回検討委員会

- ① 日時:令和5年3月29日(水)15時～17時
- ② 内容
 - 1) 山口大学工学部学生論文発表
「日本の炭鉱遺産の活用状況と山口県の課題について」
 - 2) 市民アンケートの結果について ……(資料1参照)
 - 3) 議題
 - ・石炭記念館の課題抽出、問題点の課題と整理 ……(資料2参照)
 - 4) 委員からの主な意見
 - ・石炭記念館を観光資源として活用するかの議論が必要である
 - ・歴史教育も必要だが、エネルギーの未来を見据えた視点も必要である
 - ・展示にストーリー性の立付けが必要である。
 - ・石炭の遺産というだけでなく、宇部市の歴史遺産としても考える必要がある
 - ・ハード面とソフト面を融合させながら議論を進めることも必要である

(3) 今後のスケジュール

開催日程	回次	検討項目等
令和5年6月	第3回 委員会	・石炭記念館のありたい姿
令和5年8月	第4回 委員会	・提言書とりまとめ ・提言書(案)の確認
令和5年9月	提言書提出	
令和5年9月 ～11月	石炭記念館基本構想(素案)策定	
令和5年12月	基本構想(素案)に関するパブリックコメントを実施	
令和6年3月	基本構想策定、公表	

宇部市石炭記念館に関するアンケート調査 実施結果

1. 実施期間

・令和5年2月20日(月)～3月10日(金)

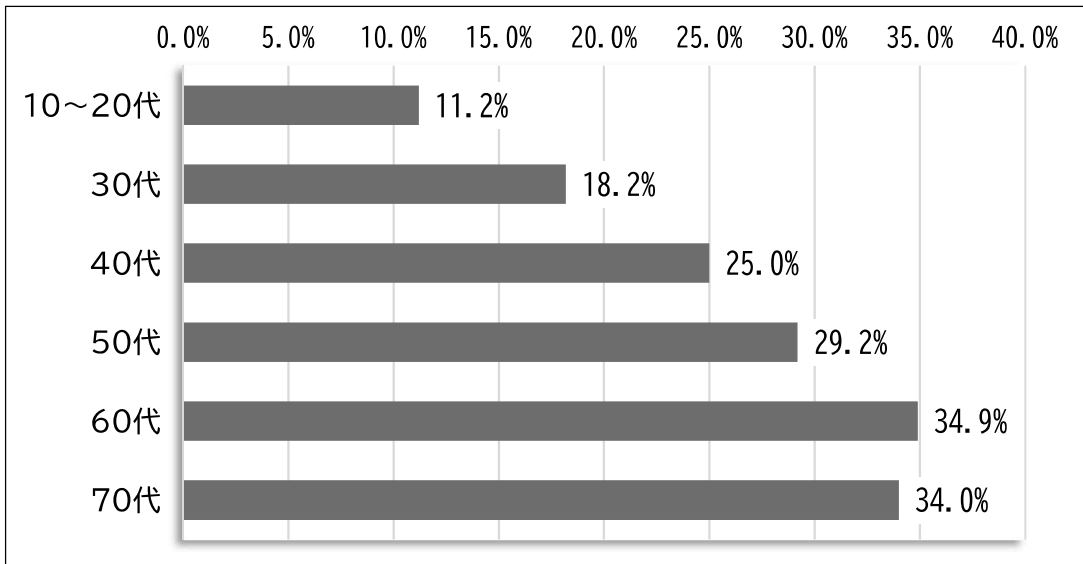
2. 対象者

・宇部市に住民登録する年齢18歳～79歳の住民(3,000人)

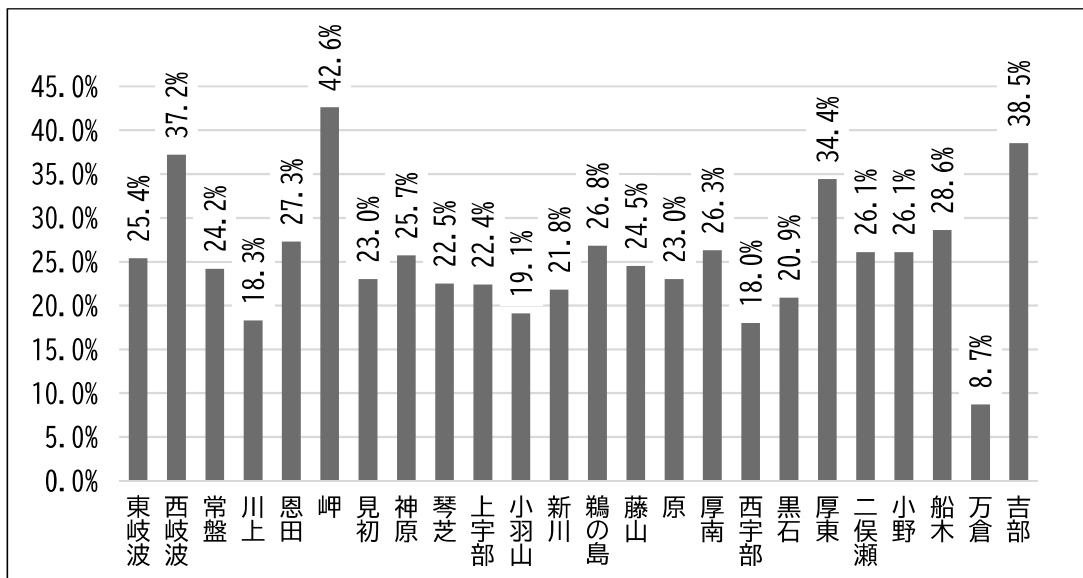
3. 回答数及び回答率

回答者数:758人 (回答率:25.3%)

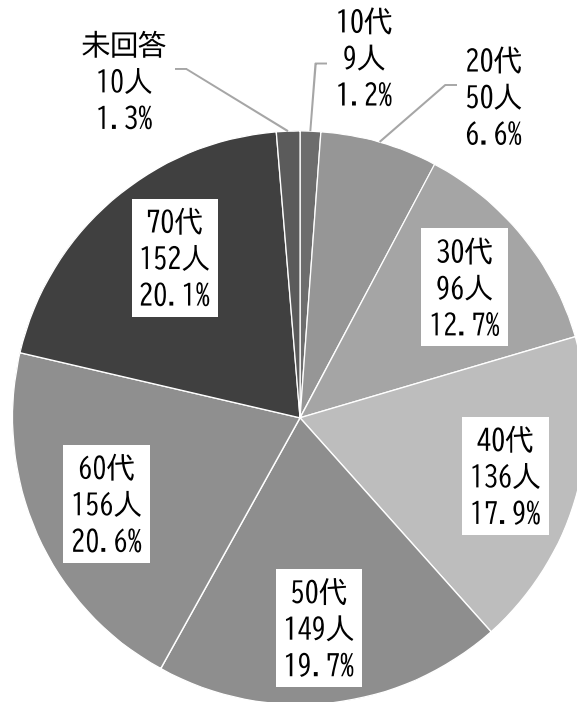
【年代別回答率】



【地区別回答率】



【問1】 あなたの年齢を教えてください（一択）



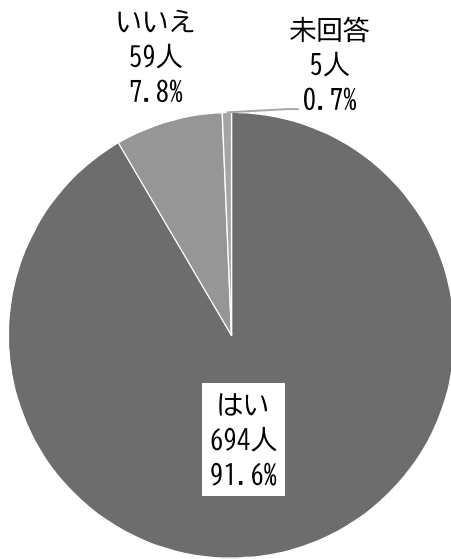
【問2】 あなたのお住いの地区を教えてください（一択）

選択肢	回答数	占有率	選択肢	回答数	占有率	選択肢	回答数	占有率
東岐波	58	7.7%	琴芝	41	5.4%	西宇部	24	3.2%
西岐波	89	11.7%	上宇部	55	7.3%	黒石	38	5.0%
常盤	37	4.9%	小羽山	22	2.9%	厚東	11	1.5%
川上	26	3.4%	新川	31	4.1%	二俣瀬	6	0.8%
恩田	63	8.3%	鵜の島	19	2.5%	小野	6	0.8%
岬	29	3.8%	藤山	49	6.5%	船木	18	2.4%
見初	14	1.8%	原	31	4.1%	万倉	2	0.3%
神原	26	3.4%	厚南	51	6.7%	吉部	5	0.7%
						未回答	7	0.9%

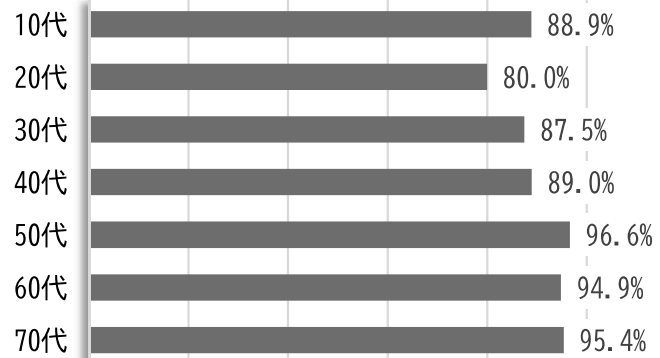
【問3】 あなたの性別を教えてください（一択）



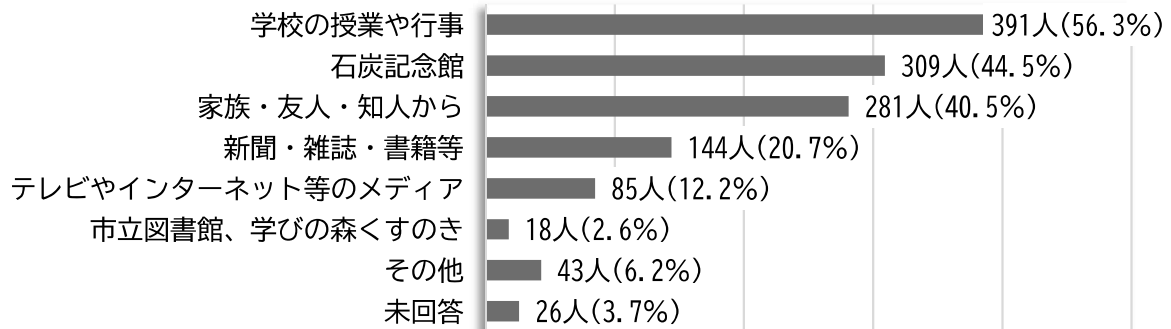
【問 4】 宇部市は石炭産業によって発展したことを知っていましたか（一択）



<年代別認知度>「はい」と答えた人の割合



**【問 5】 問4で「はい」と答えた方におたずねします。
石炭産業によって発展したことをどのようにして知りましたか（複数選択可）**



<「その他」で多かった回答>

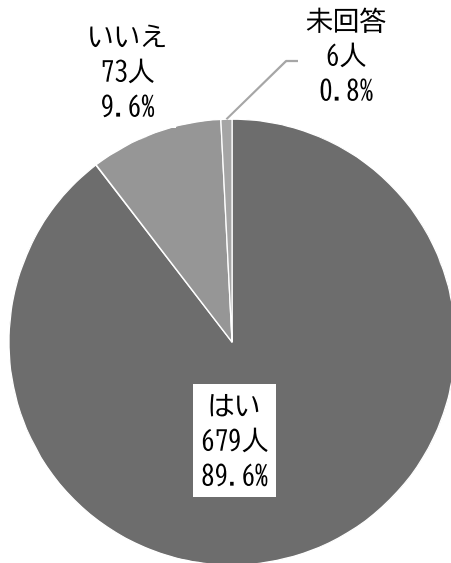
- ・会社(仕事)関係で知った (14人)
- ・家族が炭鉱で働いていた (7人)

<年代別で多かった回答>

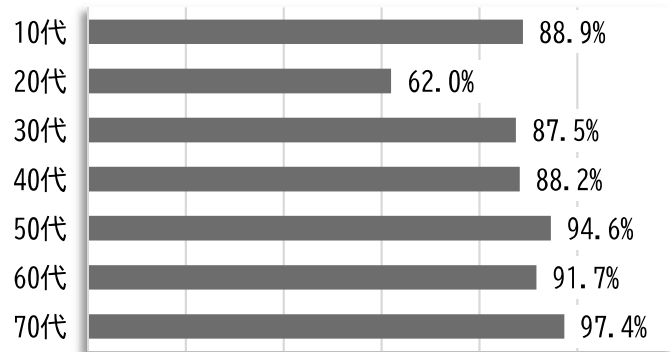
(カッコ内は、その選択肢を選んだ人の割合)

年代	1位	2位	3位
10代	学校の授業や行事 (100.0%)	石炭記念館 (25.0%)	家族・友人・知人から (12.5%)
20代	学校の授業や行事 (57.5%)	家族・友人・知人から (37.5%)	・石炭記念館 ・テレビ等のメディア (27.5%)
30代	学校の授業や行事 (60.7%)	石炭記念館 (42.9%)	家族・友人・知人から (38.1%)
40代	学校の授業や行事 (57.9%)	石炭記念館 (43.8%)	家族・友人・知人から (35.5%)
50代	学校の授業や行事 (61.1%)	石炭記念館 (52.8%)	家族・友人・知人から (38.2%)
60代	学校の授業や行事 (54.7%)	石炭記念館 (49.3%)	家族・友人・知人から (43.9%)
70代	家族・友人・知人から (47.6%)	学校の授業や行事 (46.9%)	石炭記念館 (38.6%)

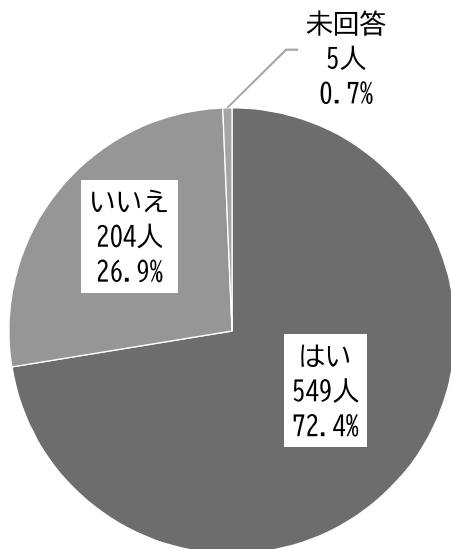
【問 6】 宇部市に石炭記念館があったことを知っていましたか（一択）



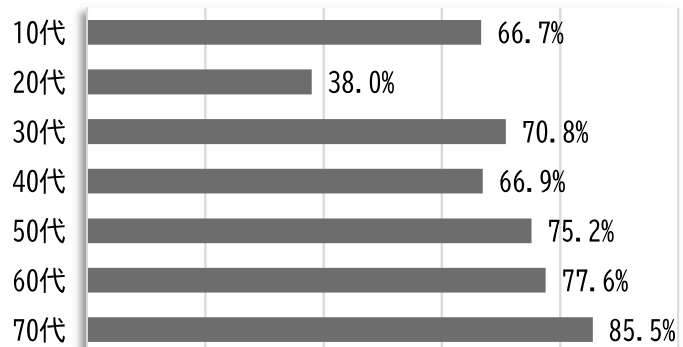
<年代別認知度>「はい」と答えた人の割合



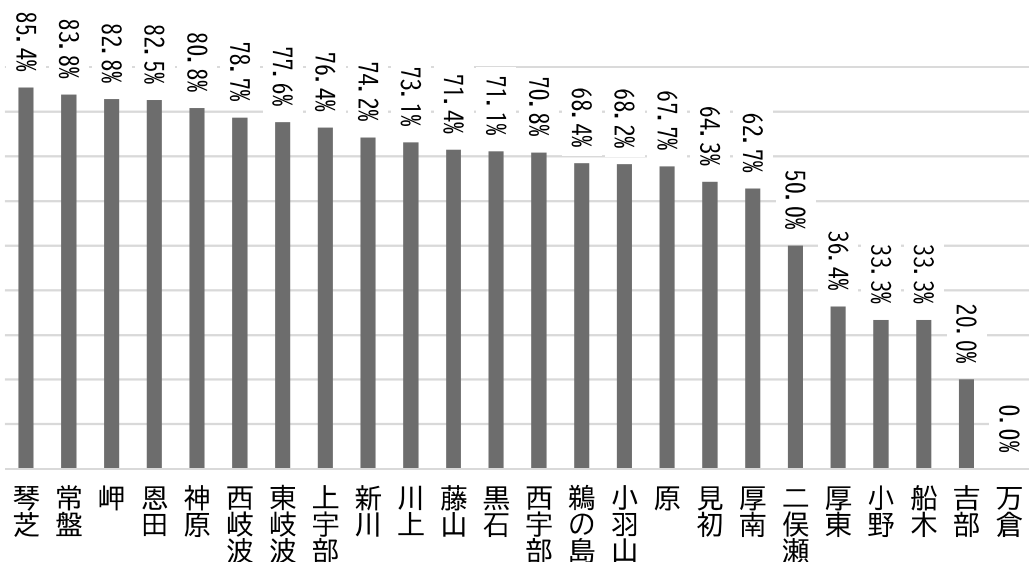
【問 7】 石炭記念館に行ったことはありますか（一択）



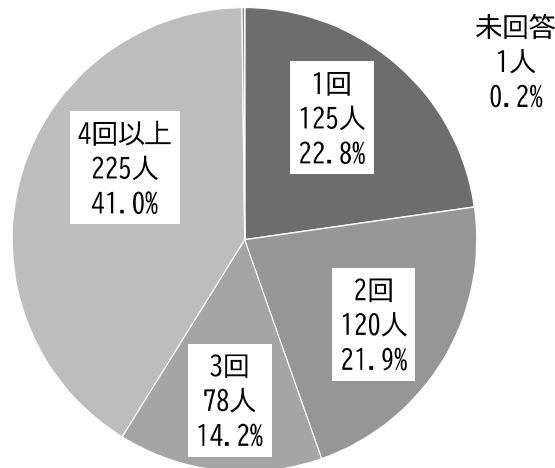
<年代別>「行ったことがある」と答えた人の割合



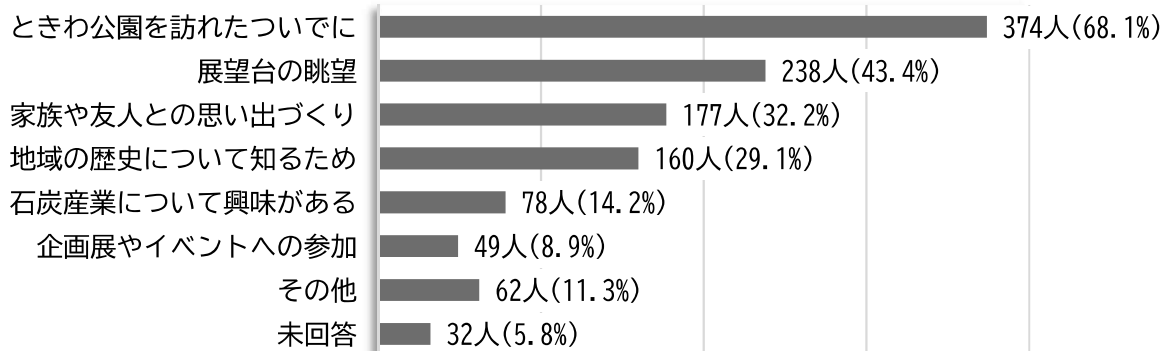
<地区別>「行ったことがある」と答えた人の割合



**【問 8-1】 問 7 で「はい」と答えた方におたずねします。
今まで石炭記念館に行った回数を教えてください（一択）**



**【問 8-2】 問 7 で「はい」と答えた方におたずねします。
どのような目的で行かれましたか（複数選択可）**



<「その他」で多かった回答>

- ・学校の行事(社会見学、遠足等) (42人)

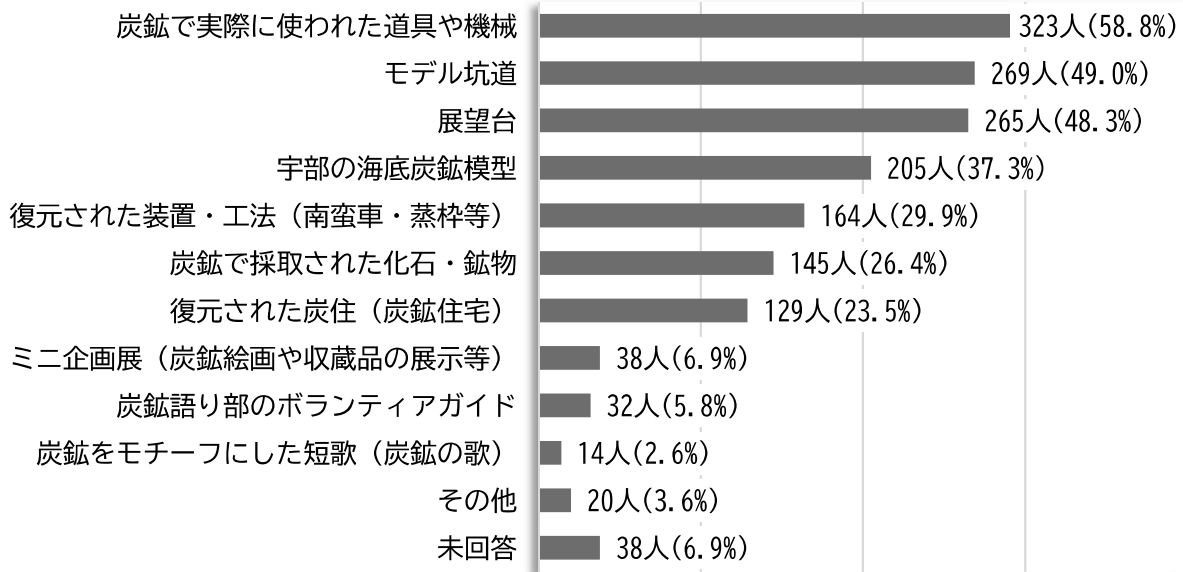
<年代別で多かった回答>

(カッコ内は、その選択肢を選んだ人の割合)

年代	1位	2位	3位
10代	ときわ公園を訪れたついでに (50.0%)	展望台の眺望 (33.3%)	・地域の歴史について知るため ・家族や友人との思い出づくり (16.7%)
20代	ときわ公園を訪れたついでに (73.7%)	地域の歴史について知るため (47.4%)	展望台の眺望 (21.1%)
30代	ときわ公園を訪れたついでに (67.6%)	展望台の眺望 (41.2%)	家族や友人との思い出づくり (29.4%)
40代	ときわ公園を訪れたついでに (65.9%)	展望台の眺望 (47.3%)	家族や友人との思い出づくり (41.8%)
50代	ときわ公園を訪れたついでに (70.5%)	展望台の眺望 (51.8%)	地域の歴史について知るため (25.0%)
60代	ときわ公園を訪れたついでに (73.6%)	展望台の眺望 (43.0%)	家族や友人との思い出づくり (35.5%)
70代	ときわ公園を訪れたついでに (62.3%)	展望台の眺望 (39.2%)	家族や友人との思い出づくり (28.5%)

【問 8-3】 問 7 で「はい」と答えた方におたずねします。

石炭記念館で興味深かった展示物等を教えてください（複数選択可）



<「その他」で多かった回答>

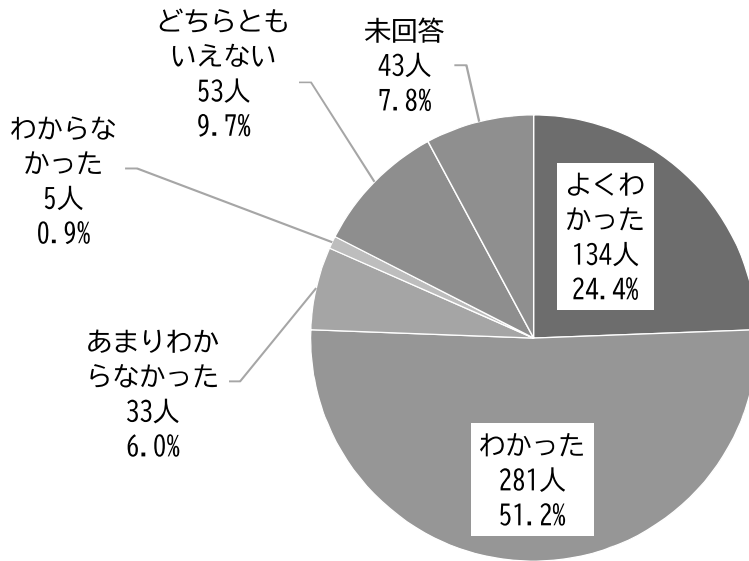
- ・石炭記念館に行ったのが昔のことで覚えていない（7人）

<年代別で多かった回答>

（カッコ内は、その選択肢を選んだ人の割合）

年代	1 位	2 位	3 位
10 代	展望台 (66.7%)	モデル坑道 (50.0%)	炭鉱で実際に使われた道具等 (33.3%)
20 代	モデル坑道 (57.9%)	炭鉱で実際に使われた道具等 (47.4%)	復元された装置・工法 (36.8%)
30 代	炭鉱で実際に使われた道具等 (58.8%)	展望台 (50.0%)	モデル坑道 (35.3%)
40 代	炭鉱で実際に使われた道具等 (58.2%)	モデル坑道 (56.2%)	展望台 (50.5%)
50 代	炭鉱で実際に使われた道具等 (60.7%)	モデル坑道 (58.9%)	展望台 (58.0%)
60 代	炭鉱で実際に使われた道具等 (62.0%)	モデル坑道 (51.2%)	展望台 (47.9%)
70 代	炭鉱で実際に使われた道具等 (57.7%)	展望台 (40.8%)	・宇部の海底炭鉱模型 ・モデル坑道 ・復元された装置・工法 (40.0%)

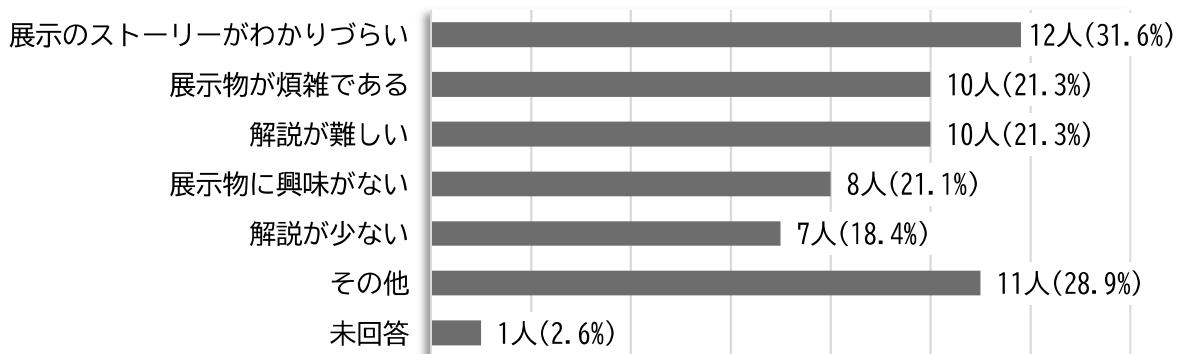
**【問 8-4】 問 7 で「はい」と答えた方におたずねします。
展示物等を見て、宇部市の歴史がわかりましたか（一択）**



<年代別選択割合>

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
よくわかった	11.1%	21.1%	20.6%	30.8%	32.1%	16.5%	23.1%
わかった	66.7%	52.6%	51.5%	52.7%	45.5%	57.9%	47.7%
あまりわからなかった	0.0%	15.8%	7.4%	6.6%	3.6%	6.6%	5.4%
わからなかった	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
どちらともいえない	16.7%	10.5%	13.2%	5.5%	14.3%	12.4%	3.8%

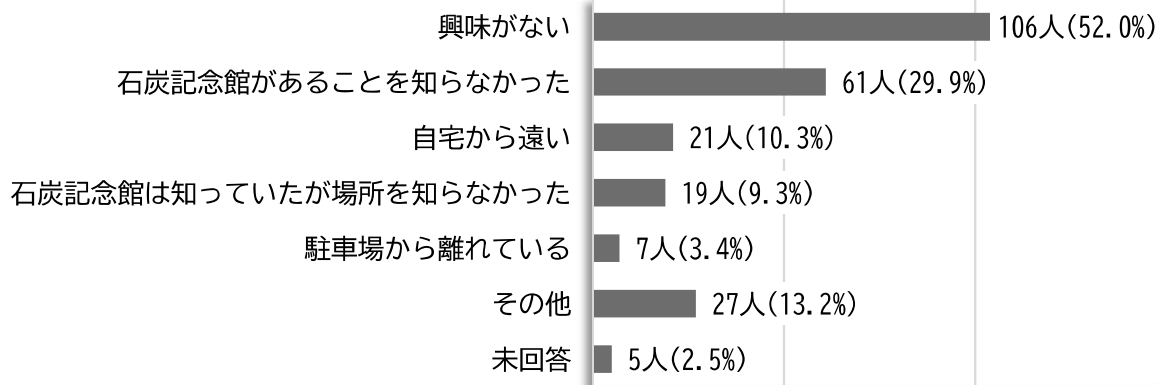
**【問 8-5】 8-4 で「あまりわからなかった」または「わからなかった」と答えた方におたずねします。
どういった点がわかりづらかったですか（複数選択可）**



<「その他」で多かった回答>

- ・石炭記念館に行ったのが昔のことで覚えていない（5人）

**【問 9】 問7で「いいえ」と答えた方におたずねします。
あなたが石炭記念館を利用しない理由を教えてください（複数選択可）**



<「その他」で多かった回答>

- ・行く機会(きっかけ)がなかった (6人)
- ・宇部に住み始めて日が浅い (4人)

<年代別で多かった回答>

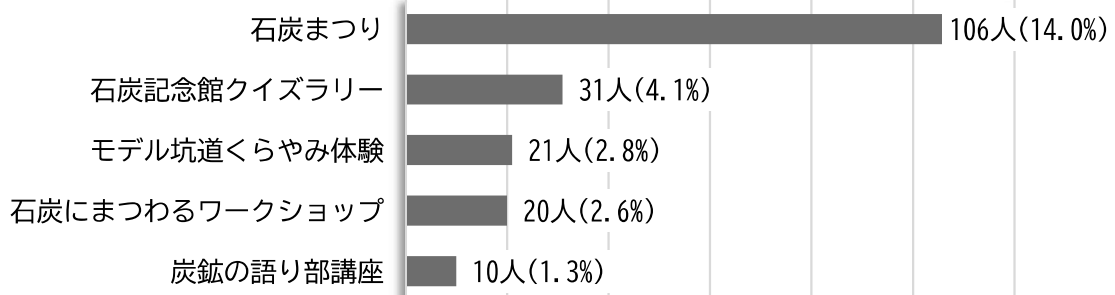
(カッコ内は、その選択肢を選んだ人の割合)

年代	1位	2位	3位
10代	興味がない (100.0%)	あることを知らなかった (33.3%)	—
20代	あることを知らなかった (54.8%)	興味がない (38.7%)	その他 (12.9%)
30代	興味がない (60.7%)	あることを知らなかった (28.6%)	その他 (21.4%)
40代	興味がない (53.3%)	あることを知らなかった (28.9%)	その他 (15.6%)
50代	興味がない (59.5%)	あることを知らなかった (18.9%)	・場所を知らなかった ・その他 (8.1%)
60代	興味がない (42.9%)	あることを知らなかった (31.4%)	自宅から遠い (20.0%)
70代	興味がない (47.6%)	自宅から遠い (33.3%)	・あることを知らなかった ・場所を知らなかった ・その他 (9.5%)

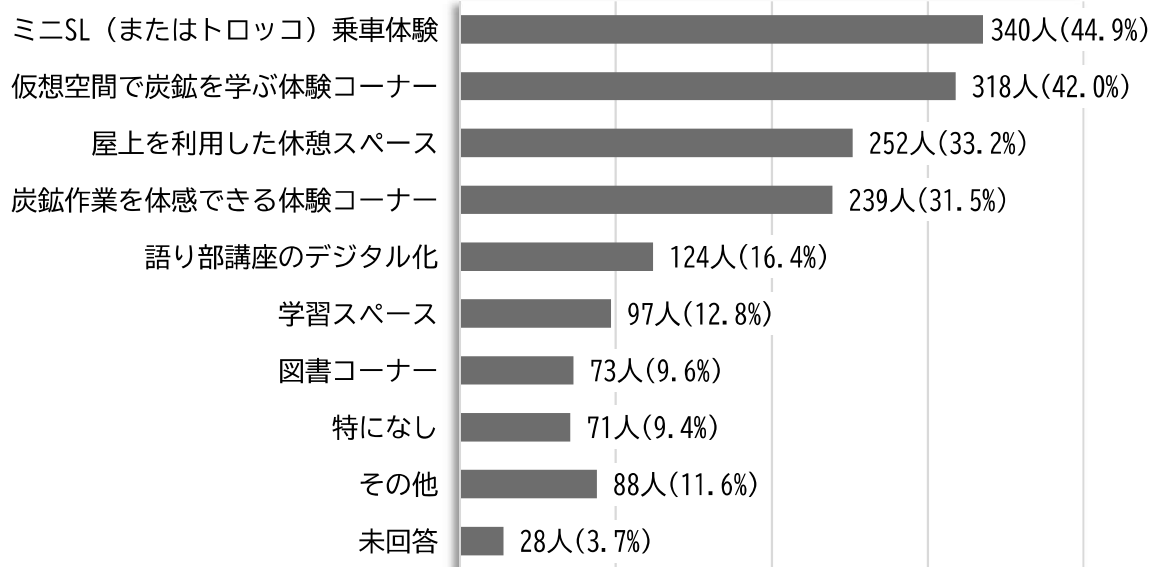
<「自宅から遠い」を選択された人の地区属性>

- 船木(6人)、厚南(4人)、鶉の島(2人)、黒石(2人)、厚東(2人)
- 東岐波(1人)、常盤(1人)、原(1人)、二俣瀬(1人)、小野(1人)

**【問 10】 石炭記念館ではさまざまイベントを開催しています。
これまでに参加したことがあるイベントはありますか（複数選択可）**



**【問 11】 より多くの方に石炭記念館を利用させていただくために、
何が必要と思いますか（複数選択可）**



<「その他」で多かった回答>

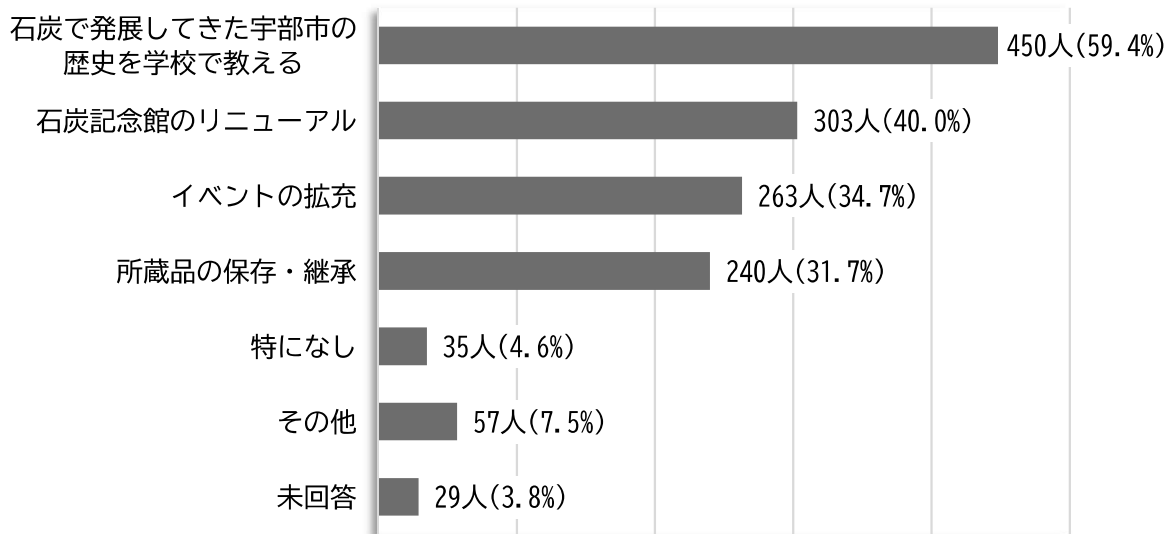
- ・広報宣伝（16人）
- ・カフェ、飲食スペース等（16人）

<年代別で多かった回答>

（カッコ内は、その選択肢を選んだ人の割合）

年代	1位	2位	3位
10代	ミニ SL 等乗車体験 (55.6%)	屋上に休憩スペース (44.4%)	仮想空間で体験コーナー (33.3%)
20代	炭鉱作業の体験コーナー (46.0%)	仮想空間で体験コーナー (34.0%)	ミニ SL 等乗車体験 (28.0%)
30代	ミニ SL 等乗車体験 (64.6%)	炭鉱作業の体験コーナー (38.5%)	屋上に休憩スペース (36.5%)
40代	ミニ SL 等乗車体験 (50.0%)	仮想空間で体験コーナー (41.9%)	炭鉱作業の体験コーナー (36.0%)
50代	ミニ SL 等乗車体験 (53.0%)	仮想空間で体験コーナー (48.3%)	屋上に休憩スペース (47.7%)
60代	仮想空間で体験コーナー (51.3%)	ミニ SL 等乗車体験 (39.1%)	屋上に休憩スペース (26.3%)
70代	仮想空間で体験コーナー (39.5%)	ミニ SL 等乗車体験 (29.6%)	屋上に休憩スペース (26.3%)

**【問 12】 宇部市が石炭産業で発展してきた歴史を後世に伝えていくためには
どうしたら良いと思いますか（複数選択可）**



<「その他」で多かった回答>

・広報宣伝（14人）

<年代別で多かった回答>

（カッコ内は、その選択肢を選んだ人の割合）

年代	1位	2位	3位
10代	歴史を学校で教える (77.8%)	イベントの拡充 (44.4%)	所蔵品の保存・継承 (33.3%)
20代	歴史を学校で教える (52.0%)	イベントの拡充 (46.0%)	記念館のリニューアル (30.0%)
30代	歴史を学校で教える (53.1%)	イベントの拡充 (41.7%)	記念館のリニューアル (38.5%)
40代	歴史を学校で教える (59.6%)	記念館のリニューアル (40.4%)	イベントの拡充 (39.0%)
50代	歴史を学校で教える (63.1%)	記念館のリニューアル (47.0%)	イベントの拡充 (42.3%)
60代	歴史を学校で教える (66.7%)	記念館のリニューアル (38.5%)	所蔵品の保存・継承 (29.5%)
70代	歴史を学校で教える (55.3%)	所蔵品の保存・継承 (41.4%)	記念館のリニューアル (40.8%)

【問 13】 石炭記念館の良い点があれば具体的にお教えてください

(自由記述のため、意見の要旨ごとに件数を集約)

意見の要旨	件数
宇部市の歴史がよくわかる(学べる)	43
展望台(の眺望)	35
当時の器具が見られる、当時の再現されている	17
(良い点はない)	13
場所が良い、ときわ公園内にあって行きやすい	12
モデル坑道	11
展示内容が良い(わかりやすい)	11
炭鉱(石炭産業)を学ぶことができる、学習の場として良い	11
シンボリックで目立つ建物	9
SLが展示されている	7
(リアルな)マネキン人形	7
歴史ある建物(長年継続していること)	6
当時の竪坑櫓が利用されている	4
無料で入館できる、入りやすい	4
書物、資料が揃っている、閲覧できる	4
炭鉱に入ったような体験	2

【問 13】 石炭記念館の改善すべき点があれば具体的にお教えてください

(自由記述のため、意見の要旨ごとに件数を集約)

意見の要旨	件数
建物が古い、外観が悪い、雰囲気暗い	61
建物の場所が悪い、入りづらい	29
宣伝や情報発信が足りない	22
館内が暗い、怖い	18
子供には分かりづらい、楽しめない	13
カフェや休憩できる場所がない	10
魅力がない、代わり映えしない、楽しめる要素がない	9
展示手法が古い	8
展示だけで体験できるものがない	7
イベントが少ない、興味を引くイベントがない	7
廃止、解体、他施設を検討すべき	7
建物までの園路が良くない(坂道など)	5
マネキン人形が怖い	5
音声ガイドが不足、良くない	5
展望台が低い	4
名前が悪い	3
何の施設か分かりづらい	3
模型等が古い	3
施設が狭い、小規模で見応えがない	2
交通アクセスが悪い	2
展示物が少ない	2
モデル坑道が怖い	2

【問 14】 その他、石炭記念館へのご意見がありましたらお書きください

(自由記述のため、意見の要旨ごとに件数を集約)

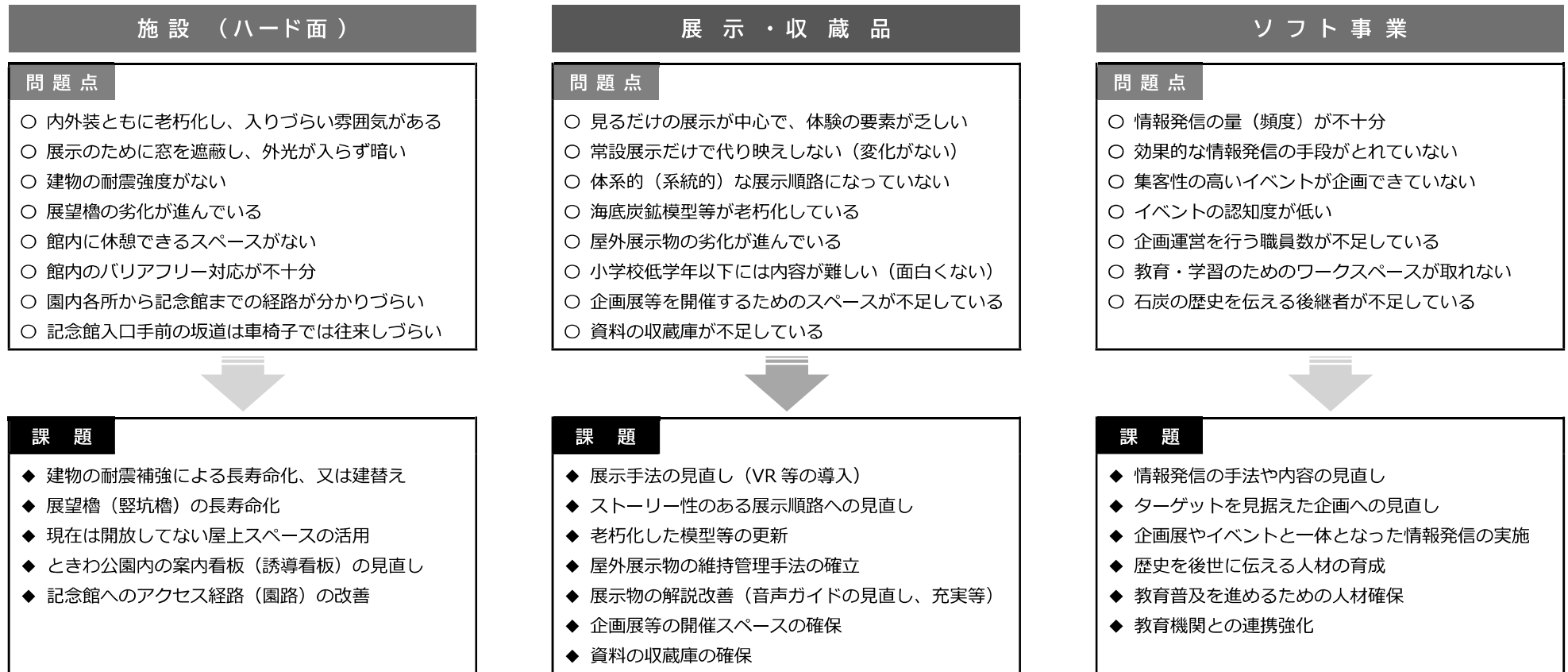
意見の要旨	件数
存続を要望	32
イベントによる集客を望む	22
複合施設としての再生(カフェ、プラネタリウム等)	18
広報、宣伝活動の充実	17
リニューアルを要望	14
郷土史に関する教育の充実	10
石炭記念館までの導線の整備	8
廃止を要望	7
暗い、怖い、入りづらい雰囲気の一掃	7
場所を分かりやすくするために看板設置を(公園内、園外)	7
展示内容の充実(地質調査等、より専門的に)	5
悲惨な事故やその後の取組を取り上げる、デメリットの部分も伝える	5
体験コーナー等、子どもにわかりやすい解説	4
魅力を感じない	3
新たな展示方法の導入(VR、メタバース等)	3
仮想空間上で石炭記念館を存続	3
場所の移転(中心市街地等)	3
地元大学等との連携が必要	3
他施設を参考に改善する	2
リニューアルは不要	2
飽きさせない工夫が必要(定期的な展示替え等)	2
石炭キャラクターを作る	2
専門職員の育成	2
他の既存施設に移設	1

【問 14】 その他、石炭記念館へのご感想がありましたらお書きください

(自由記述のため、意見の要旨ごとに件数を集約)

意見の要旨	件数
これを機に行ってみたい	12
石炭記念館を残してほしい	7
暗いイメージ	4
必要な施設だ	4
費用面から記念館のリニューアルには反対	4
周辺環境の整備(美化)を望む	3
記念館を面白いものにして欲しい	3
宇部市の歴史を大切にして欲しい	2
後世に伝えて欲しい	2
多くの人に石炭記念館を知ってもらいたい	2
入口を分かりやすくしてほしい	2
展望台からの眺望が良い	2
市民が行きたくなる施設に	2
入ってみたくなる外観、明るい雰囲気づくり	2
石炭記念館を知ってもらう工夫が必要	2
後世に伝える目的が分からない、未来志向で	2
展示物や資料は残すべき	2
イベントが不足	2
石炭記念館を知ってもらうことが必要	1
行って見て良かった	1
宇部市の歴史をアピールできる施設になると良い	1
屋上に休憩スペースが欲しい	1
貴重な文化遺産だ	1
無料で見られるところが良い	1
市民が行きやすい場所に	1
場所は採掘現場の跡地が良い	1
場所を公園の中央よりに移動	1
他の目的でも利用できる施設になると良い	1
魅力を感じない	1
駐車場が遠い	1
石炭記念館で宇部の歴史を感じて欲しい	1

宇部市石炭記念館 問題点と課題の整理



★ 石炭産業の歴史を継承するための施設として、石炭記念館をどのように活用していくか？

【資料1】

産業建設委員会

2 宇部市営住宅審議会について

都市政策部 住宅政策課
令和5年6月9日

▶ ～ 宇部市営住宅審議会とは ～

- ▶ 宇部市営住宅審議会は、「宇部市営住宅条例第63条」の規定に基づき設置された
- ▶ もので、市営住宅の供給、建替え、管理運営及び入居者の資格に関する協議を行う
- ▶ ための組織になっています。
- ▶ 審議会の構成員は、「建築、福祉医療、法務等の学識経験を有する者」「公益を
- ▶ 代表する者」など10名で構成されています。

▶ ～ 宇部市営住宅審議会の開催状況 ～

- ▶ 1.開催日時 令和5年3月17日
- ▶ 2.議事内容
 - ▶ (1) 高齢者世帯向け住宅の変更について（諮問）
 - ▶ (2) 宇部市営住宅条例の一部改正について（報告）
 - ▶ (3) 保証人の取扱い等に関する現状について（報告）

(1) 高齢者世帯向け住宅の変更について（諮問）

① 変更する背景

<高齢者の応募状況>

- ・令和4年度定期募集（年4回）の応募総数312件のうち、
高齢者世帯の応募が214件と約7割を占めている。
- ・また、一部の住宅に応募が集中するなど、希望どおり入居できない状況にある。

<市営住宅の状況>

- ・小羽山など利便性が低いエリアでは空き戸数が多い。
- ・原因として、高齢者は利便性の高い地域にある住宅を希望されることが多く、申込みを希望する住宅に偏りがある。
- ・さらに、利便性の高い地域にある高齢者世帯向け住宅の戸数は限られている。

②変更（追加）内容

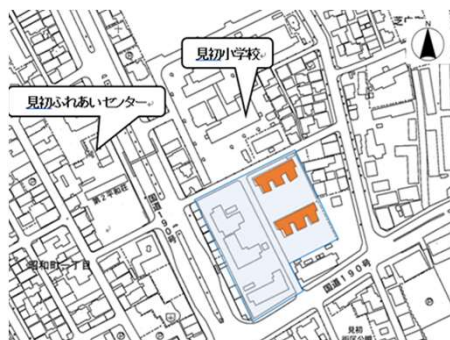
利便性の高い地域にある見初住宅と岬住宅の一部を一般世帯向け住宅から高齢者世帯向け住宅に変更する。

【詳細】

「高齢者世帯向け住宅」（271戸）と「シルバーリフォーム住宅」（200戸）を高齢者用の住宅と定めている。

この度の変更で、見初住宅と岬住宅の一部44戸を「高齢者世帯向け住宅」の271戸に追加、合計315戸とし、高齢者用の住宅数を拡充する。

<見初住宅4・5棟>



●団地概要

- (1) 建築年度 ... 昭和34年度 ※見初住宅1・2棟は除く。
- (2) 団地規模 ... 2棟36戸 ※見初住宅1・2棟104戸は除く。
- (3) 変更住戸 ... 4・5棟の1、2階の24戸

<岬住宅>



●団地概要

- (1) 建築年度 ... 昭和49年度～昭和55年度
- (2) 団地規模 ... 10棟218戸
- (3) 変更住戸 ... 1棟～5棟 3階の20戸

(2) 宇部市営住宅条例の一部改正について（報告）

※令和5年3月議会承認済み

1. 市営住宅の名称及び位置を示す「別表」の変更

(1) 変更箇所

①別表中の「中央町第二借上住宅」の項を削る。

②別表中の「東本町第三借上住宅」の項を削る。

(2) 変更理由

①中央町第二借上住宅が令和5年8月31日をもって借上契約期間の満了を迎えるため。

②東本町第三借上住宅が令和5年9月30日をもって借上契約期間の満了を迎えるため。

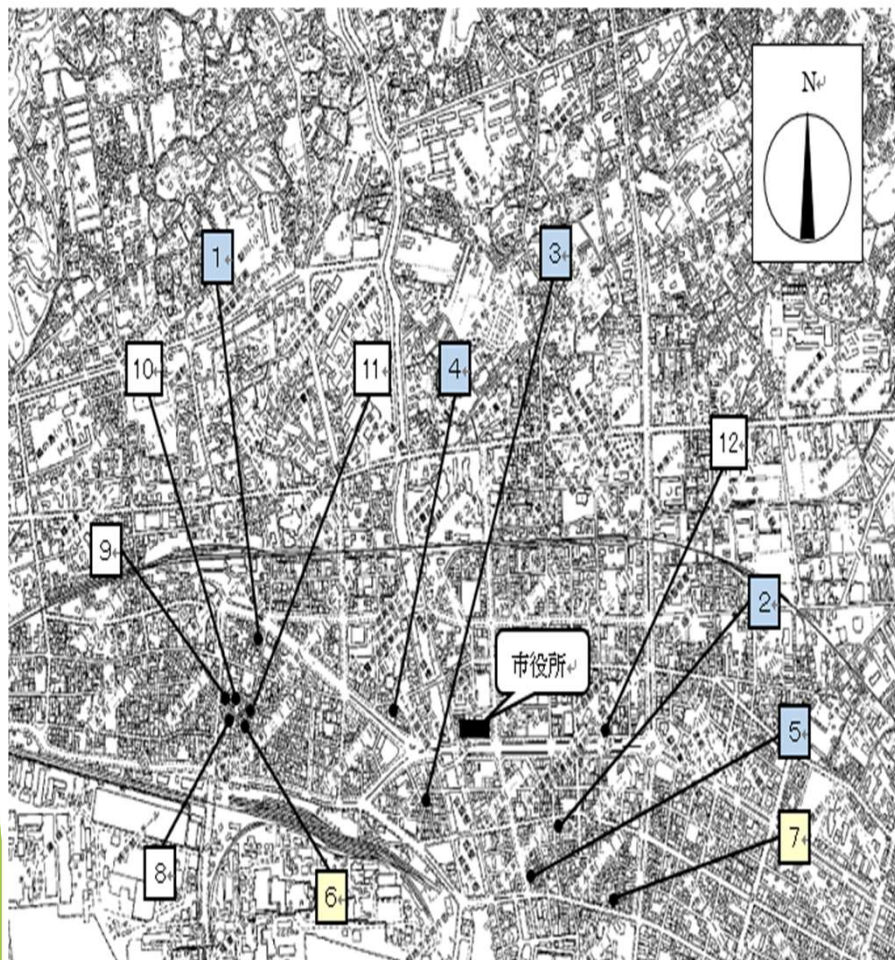
(3) 新旧対照表
別表（第三条関係）

旧		新	
中央町第二借上住宅	宇部市中央町三丁目四番		
中央町第三借上住宅	宇部市中央町三丁目四番	中央町第三借上住宅	宇部市中央町三丁目四番
東本町第三借上住宅	宇部市東本町二丁目二番		
常盤町借上住宅	宇部市常盤町二丁目四番	常盤町借上住宅	宇部市常盤町二丁目四番

(4) 施行日 令和5年9月1日（中央町第二借上住宅の項を削る改正規定）

施行日 令和5年10月1日（東本町第三借上住宅の項を削る改正規定）

借上型市営住宅位置図



借上型市営住宅一覧

番号	名称	戸数	契約期間満了日	備考
1	中央町借上住宅	12	令和2年(2020年)3月31日	中央ハイツ
2	東本町借上住宅	30	令和2年(2020年)3月31日	新天町センターハイ 返還済み
3	新町借上住宅	11	令和2年(2020年)7月31日	
4	相生町借上住宅	24	令和3年(2021年)10月31日	メゾン相生
5	東本町第二借上住宅	20	令和4年(2022年)5月31日	アビリティ東本町
6	中央町第二借上住宅	6	令和5年(2023年)8月31日	R5年度 返還
7	東本町第三借上住宅	24	令和5年(2023年)9月30日	
8	中央町第三借上住宅	48	令和6年(2024年)4月30日	アンビエンテ
9	中央町第四借上住宅	6	令和6年(2024年)8月31日	広島屋ビル
10	中央町第五借上住宅	6	令和7年(2025年)1月4日	さくらB.D
11	中央町第六借上住宅	6	令和7年(2025年)5月31日	カーサ合歓
12	常盤町借上住宅	35	令和7年(2025年)6月30日	Lestaクシベ
計		228		

(3) 保証人の取扱い等に関する現状について（報告）

近年は、身寄りのない単身高齢者等の増加や社会情勢の変化より、公営住宅への入居の際に必要な保証人の確保が難しくなることが懸念されています。

このことから、平成30年3月に、国からは公営住宅の入居時の保証人について、配慮を求める通知が出されています。

① 宇部市の対応状況

- ・宇部市では条例改正を行い、平成30年1月から保証人の人数を「2名」から「1名」に変更し、入居要件を緩和しました。
- ・また、令和2年4月からは、保証人が保証する極度額を設けました。
- ・なお、住宅セーフティネットの観点から、特別な事情がある場合には、市営住宅への入居を認める免除規定を設けており、保証人を確保できず、入居を断念する事態にならないよう配慮しています。

② 保証人規定を設ける理由

- ・滞納への抑止力
- ・収入申告、自己負担による修繕等への連帯責任
- ・緊急時の連絡先の確保

③山口県・他市の保証人の状況 (令和5年3月時点)

【保証人規定あり】 ※1県・8市 (9 / 14)

人数	県・市名
保証人2名	下松市
保証人1名	山口県、宇部市、防府市、岩国市、光市、長門市、柳井市、山陽小野田市

【保証人規定なし】 ※5市 (5 / 14)

県・市名	条例等の改正時期 (規定の撤廃時期)	保証人を求めない場合の 緊急時の連絡先等
下関市	令和2年4月	1名 (原則、3親等以内の親族)
山口市	令和3年4月	1名 (原則、親族)
萩市	令和2年4月	2名 (市内親族を優先)
美祢市	令和4年12月	2名 (原則、2親等以内の親族)
周南市	令和2年4月	2名 (原則、3親等以内の親族)

産業建設委員会

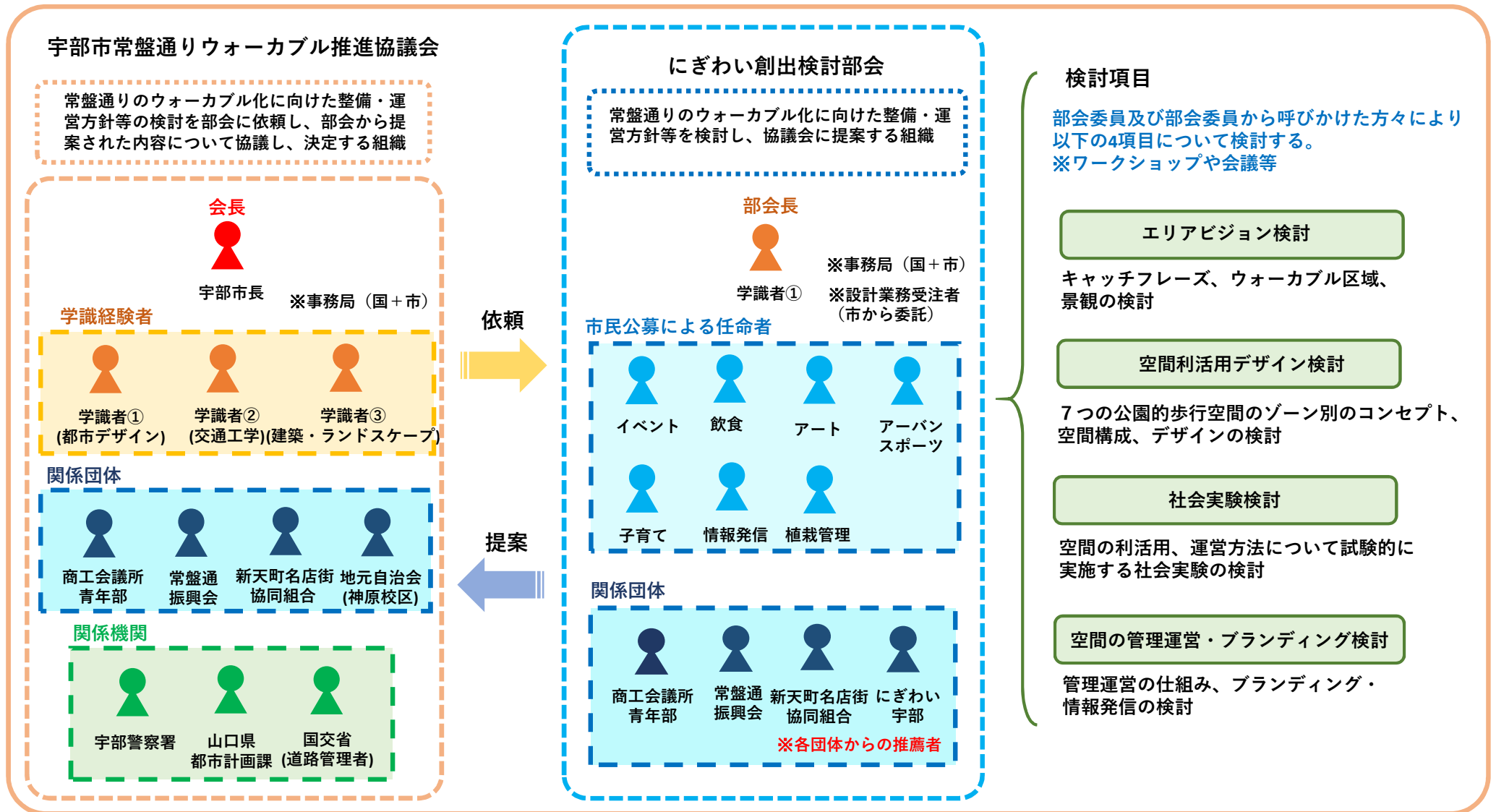
3 宇部市常盤通りウォークブル推進協議会について

都市政策部
中心市街地活性化推進課

令和5年6月9日

宇部市常盤通りウォーカブル推進協議会について

■宇部市常盤通りウォーカブル推進協議会 体制図



宇部市常盤通りウォークブル推進協議会 及び にぎわい創出検討部会の開催状況について

■協議会の開催状況

協議会	開催日	検討内容
第1回 ～ 第4回	令和4年3月28日（月） ～ 令和4年9月28日（水）	【エリアビジョン・空間利活用デザイン・社会実験検討】 部会から提案されたキャッチフレーズ、7つの公園的歩行空間のゾーン別コンセプト、デザインについて検討し、「 キャッチフレーズ（ときわTerrace：通称T-Terrace） 」と「 整備方針 」を決定。また、社会実験の実施体制を決定
第5回	令和5年1月31日（火）	【空間の管理運営・ブランディングの検討】 管理運営体制 についての検討
第6回	令和5年3月27日（月）	【空間の管理運営・ブランディングの検討】 管理運営体制及び情報発信の手法並びに今後のスケジュール についての検討

■部会の開催状況

部会	開催日	検討内容
第1回 ～ 第16回	令和4年3月28日（月） ～ 令和5年3月2日（木）	【エリアビジョン・空間利活用デザイン検討】 キャッチフレーズ、7つの公園的歩行空間のゾーン別コンセプトの検討、整備イメージの模型を製作し、整備方針（案）を部会に提案 【社会実験・空間の管理運営・ブランディング検討】 社会実験の内容、情報発信の手法についての検討

国道190号（常盤通り）整備方針

国道190号（常盤通り）の整備方針

※令和4年9月28日決定

① 市役所前

③ 旧井筒屋前

⑥ 西京銀行建設地前

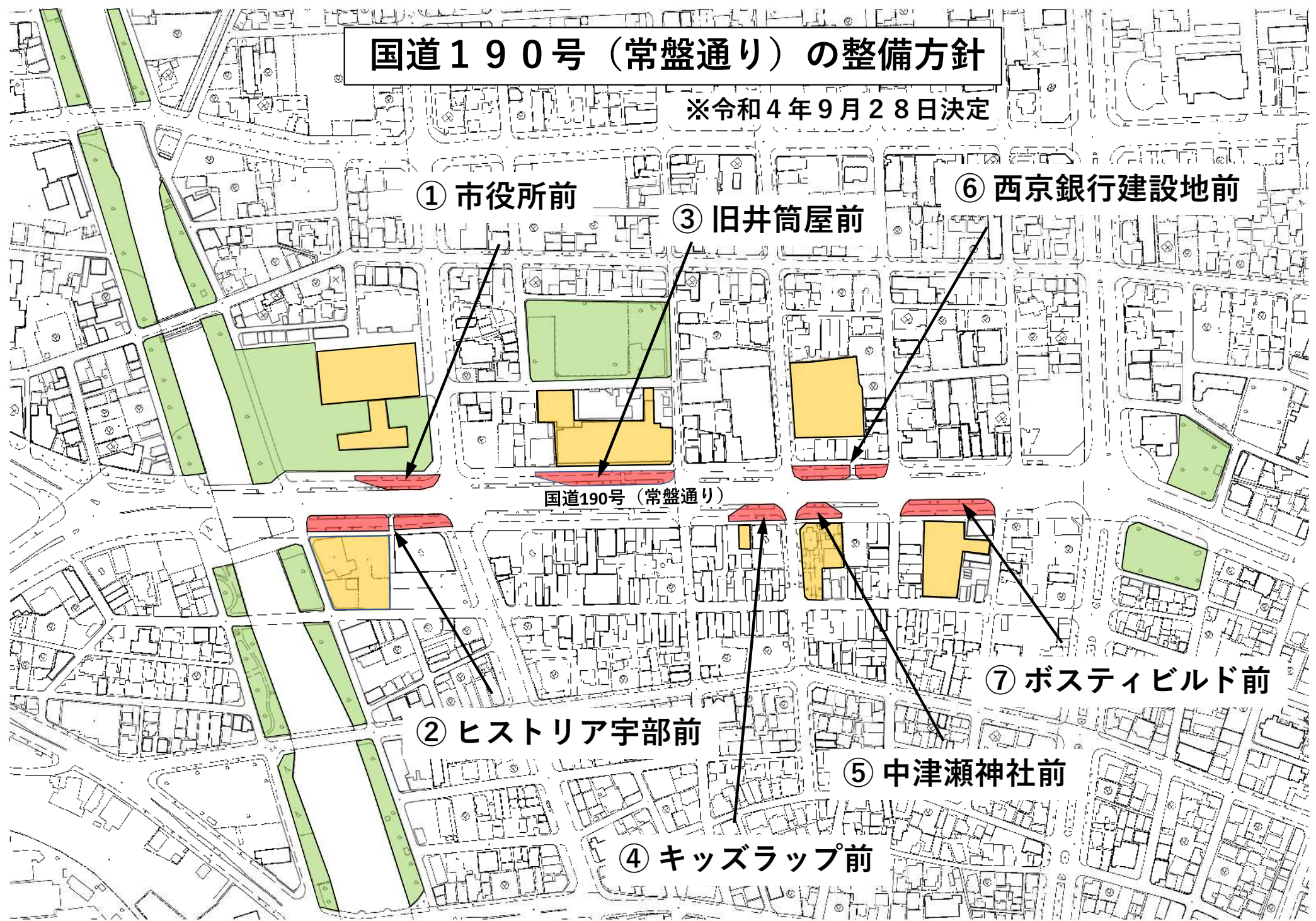
国道190号（常盤通り）

② ヒストリア宇部前

⑦ ボスティビルド前

⑤ 中津瀬神社前

④ キッズラップ前



①市役所前

エリアコンセプト

市役所の利用者や周辺のビジネスマンがくつろげる空間

(整備方針案)

- ・市役所の利用者の動線を考慮した空間配置
- ・新庁舎広場と連携したキッチンカーの配置
- ・新庁舎広場の景観と合わせた円形のデッキ等の有機的な配置
- ・サインとステージの設置による市民への情報発信スペースの整備
- ・イルミネーションによる夜間のにぎわい創出

整備イメージ図



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

②ヒストリア宇部前

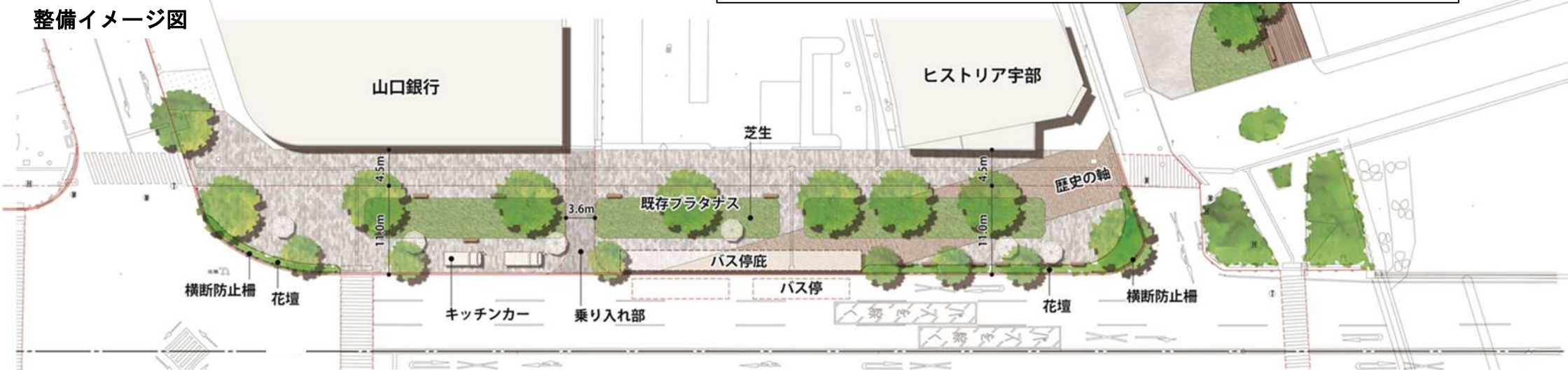
エリアコンセプト

宇部の歴史や文化を感じられる空間

(整備方針案)

- ・ 歴史や文化を感じるヒストリア宇部の雰囲気にか合う空間整備
- ・ 既存樹木の木陰による静かな滞在空間の演出
- ・ 作品等の展示スペースとして活用
- ・ イベント等に柔軟に利用できる空間整備（電源、水道設備等を充実）
- ・ 対面に位置する新庁舎の外壁を意識した桃色レンガの使用（歴史の継承）
- ・ ヒストリア宇部の駐車場の一部を活用した一体的な整備 ※要検討

整備イメージ図



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

③旧井筒屋前

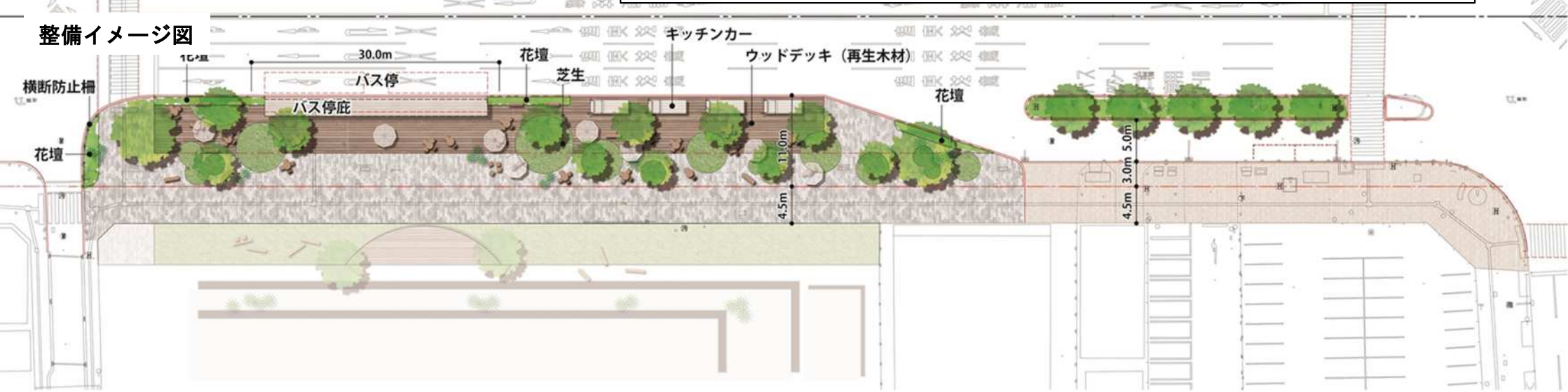
エリアコンセプト

常盤通りの中心となる多世代交流空間

(整備方針案)

- ・常盤通りの中心として、旧井筒屋跡地に計画する建物の1階用途と連携した滞在空間整備
- ・利用者が選ぶ楽しさを考慮し、大きさの異なる円形の芝生の整備
- ・旧井筒屋跡地に計画する建物のセットバックにより、芝生とウッドデッキの設置
(日常は飲食等の憩いの場、週末はイベントのステージとなる可変的な空間)
※民間事業者の意見を聞く

整備イメージ図



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

④キッズラップ前 ⑤中津瀬神社前

エリアコンセプト

子ども達が自由な発想で遊べる空間

(整備方針案)

- ・ 中津瀬神社との親水性を活かした「せせらぎ」、子どもが遊べる「泥遊び場」、自然の丘のような「芝生の山」、植樹を利用した「ハンモック」の整備
- ・ 子どもを見守る親に配慮した休憩スペースやくつろげるデッキスペースの整備
- ・ プレイカー（おもちゃを運ぶ車）や子どもライブラリの設置スペースの整備、駐輪場の整備

整備イメージ図



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

⑥西京銀行前

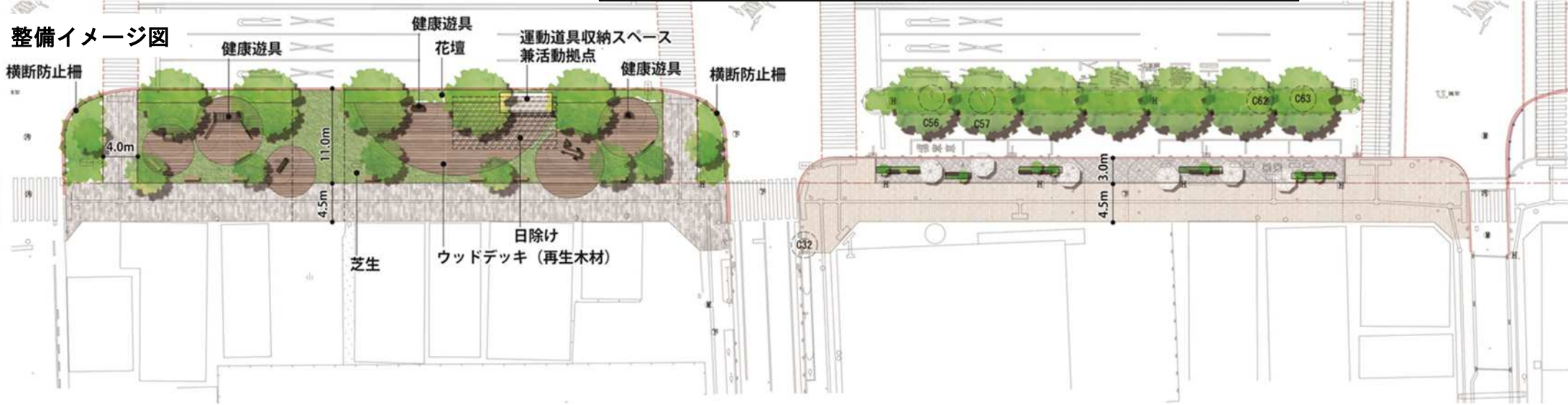
エリアコンセプト

大人のアスレチック空間

(整備方針案)

- ・ 地元住民をはじめ、高齢者にも日常的に利用できる健康遊具を設置
- ・ 運動道具の収納スペース及び運動する人が集まる活動拠点の設置
- ・ ケヤキの配置による木陰空間整備 (運動する人の休憩スペース)
- ・ 円形デッキの配置によるくつろぎ空間整備

整備イメージ図



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

⑦ボスティビルド前

エリアコンセプト

若者が集う森のような空間

(整備方針案)

- ・長時間滞在できる緑いっぱいの森のような空間整備
- ・ボスティビルドで勉強する中高生の休憩や飲食での利用を考慮し、デッキベンチを設置
- ・隣接店舗と連携したチャレンジショップの整備
- ・スケートボード等で利用できるアーバンスポーツエリアの整備
- ・ケヤキの配置による統一感のある木陰空間整備 (ボスティビルドの出入口を考慮した配置)

整備イメージ図

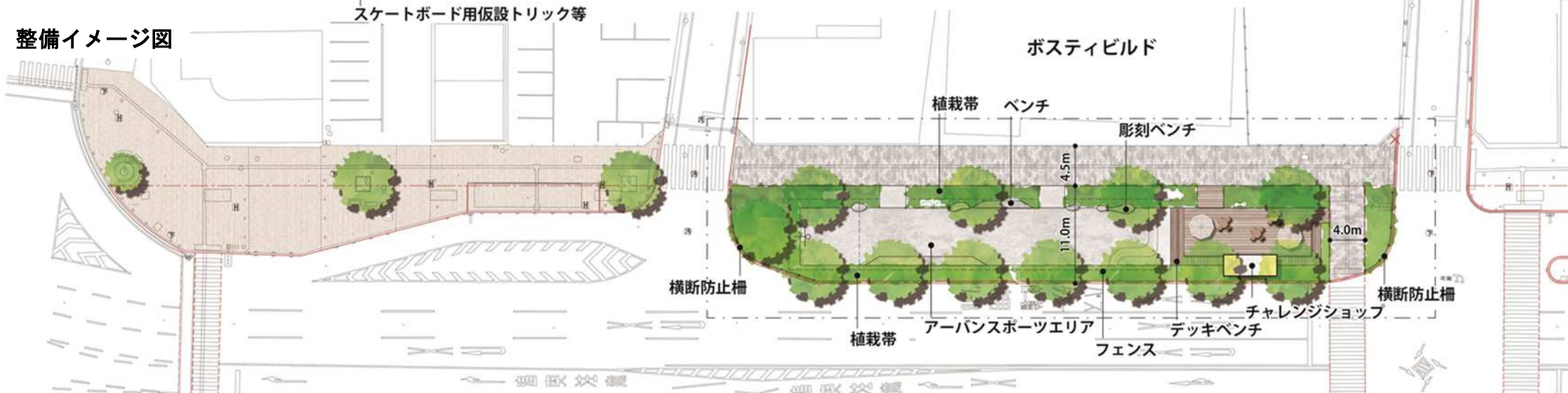


※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

イベント時イメージ



整備イメージ図



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

令和5年1月31日開催 第5回協議会資料参考

令和5年3月27日開催 第6回協議会資料参考

1. 管理運営体制（案）について

維持管理内容（整備前と整備後）

主な維持管理内容

整備前

- ・ 植栽管理（高木剪定、低木剪定、植栽帯除草）

整備後

- ・ 植栽管理（高木剪定、低木剪定、植栽帯除草、
中木剪定、芝刈り）
- ・ 清掃（ウッドデッキ、ベンチ、テーブル、落ち葉）
- ・ 巡回監視、点検（日除け、歩道照明、せせらぎ、
遊び場、健康遊具、アーバンスポーツエリア）
- ・ 施錠（コンテナ4基、アーバンスポーツエリア）
- ・ 管理運営者常駐1人



現状より維持管理内容が増加する

運営内容（整備前と整備後）

主な運営内容

整備前

- ・なし

整備後

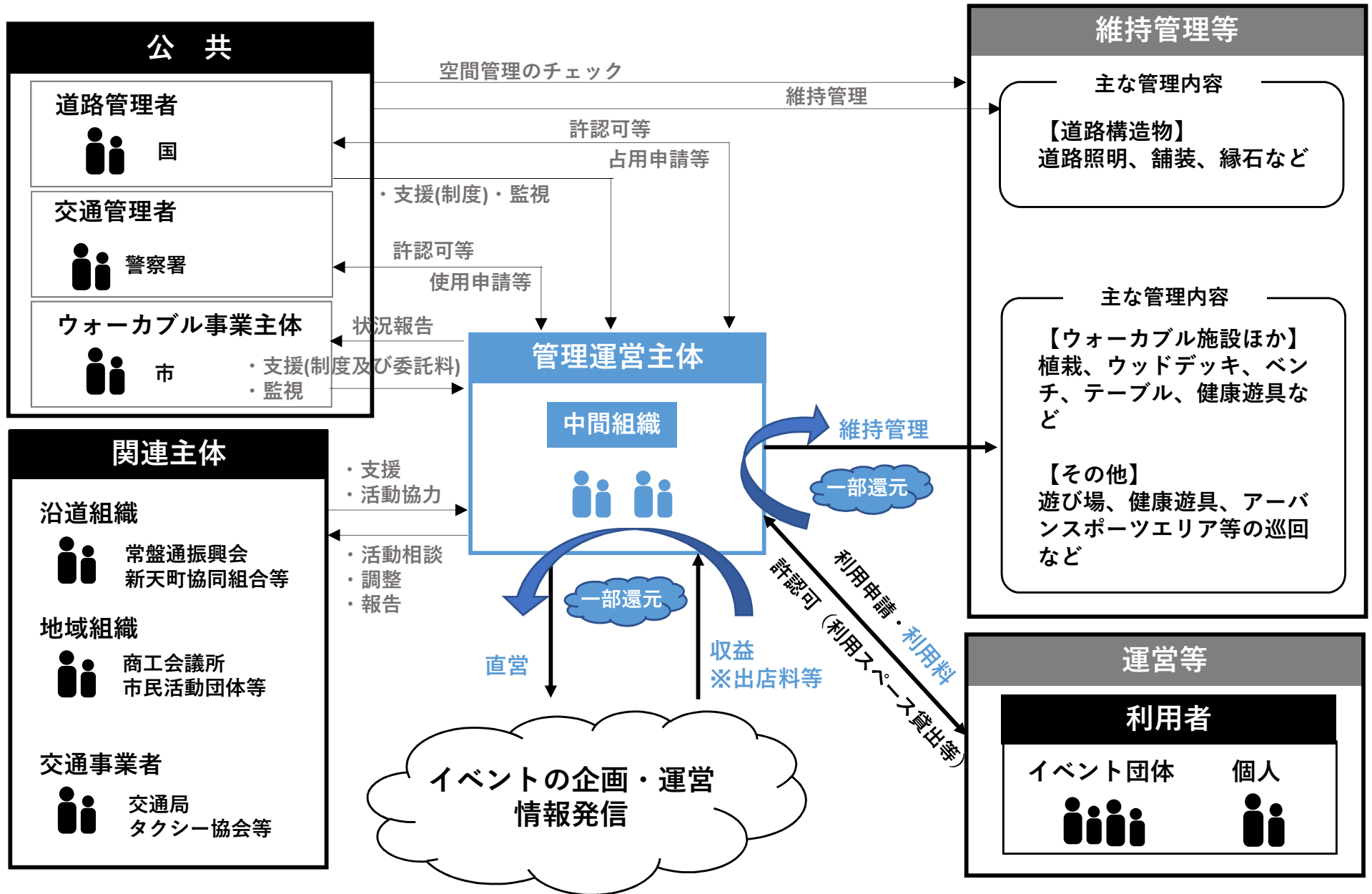
- ・イベントの企画・運営
- ・情報発信
- ・イベントスペース等の管理・運営（貸出、利用料金徴収、スケジュール管理）

（キッチンカー設置スペース、子どもの遊び場、健康遊具エリア、アーバンスポーツエリア、コンテナ等）



公園的歩行空間として運営していく必要がある

管理運営体制（案）



中間組織立ち上げに向けた検討手法（案）

令和5年度から令和6年度まで、中間組織立ち上げに向けた検討を行い、令和7年度（市役所前の整備完了の翌年度）に中間組織を立ち上げたいと考えている。

検討手法（案）

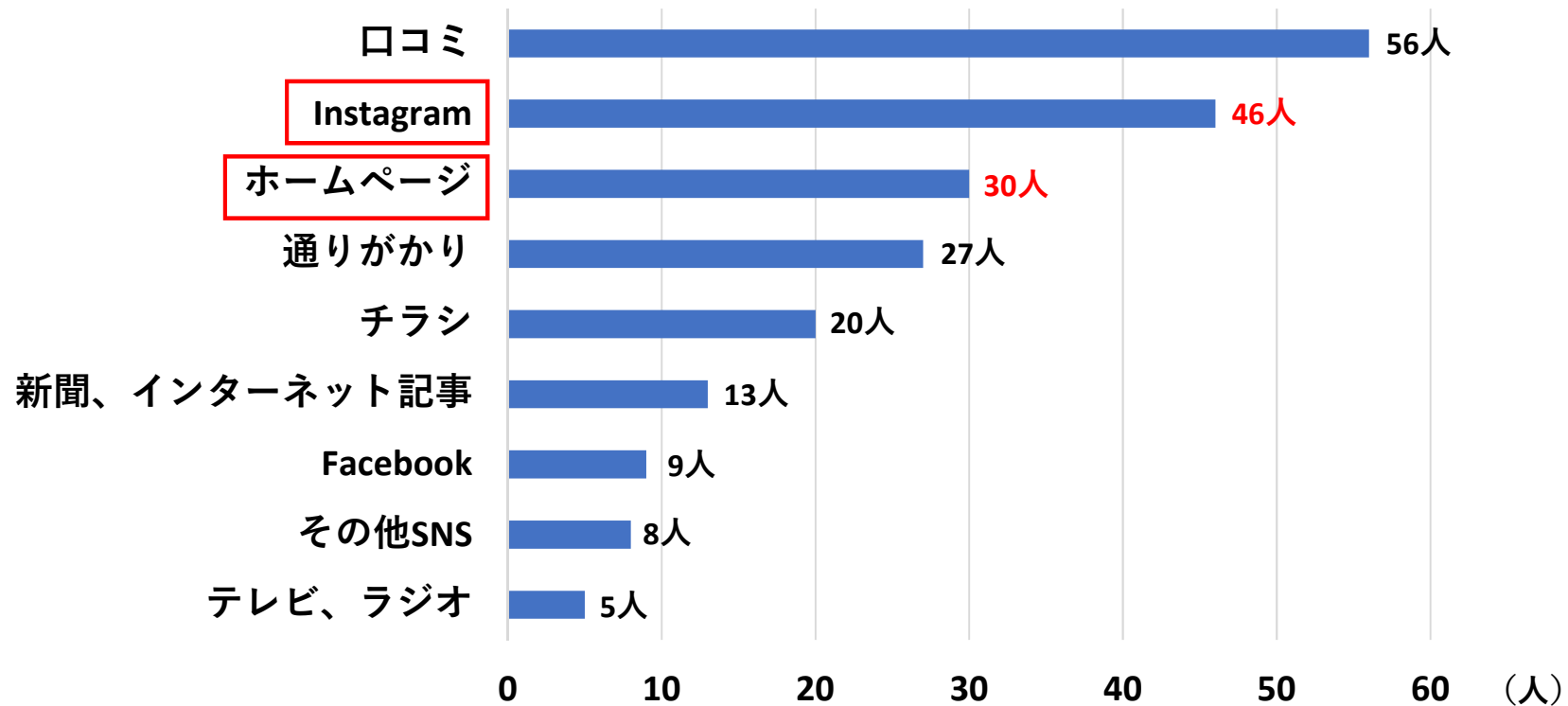
- ・ 令和5年度および令和6年度の社会実験の中で、都市再生推進法人が、管理運営について実証実験を行い、その検証結果をもとに検討する。必要に応じて、アドバイザーの意見を聞く。

【理由】 地域に定着し、広域にマネジメントを行う組織であるため、幅広い視点で事業採算性の検証や課題の抽出が出来ると考えられる。

2. 情報発信の手法（案）について

社会実験時のアンケート結果

Q 社会実験の事を何で知りましたか



- ・ SNSではInstagramの情報発信力が特に強いことが分かる。
- ・ ホームページで知った方も多かった。



社会実験のアンケート結果を踏まえ、より効果的な情報発信方法を検討

情報発信の手法（案）

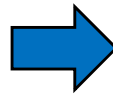
これまで（R4年度実績）

市HP、広報紙での定期的な情報発信（記事掲載）

動画作成（全3作品）
市HP及びyoutubeで公開
市役所1階ロビー等で放映

各種情報の報道発表
社会実験について
宇部日報・山口宇部経済新聞・KRY
ウォーカブルについて
宇部日報（正月特集記事）

（社会実験について）
SNS発信
YCCU、ときわいこっと。等のアカウントにて適宜情報発信
専用ウェブサイト、チラシ
市長youtubeチャンネル



これから（R5年度～）

市HP、広報紙での定期的な情報発信（記事掲載）

各種情報の報道発表
宇部日報・山口宇部経済新聞
ほか各種メディアへの発信等

（社会実験について）
SNS発信
YCCU、ときわいこっと。等のアカウントにて適宜情報発信
専用ウェブサイト、チラシ
市長youtubeチャンネル

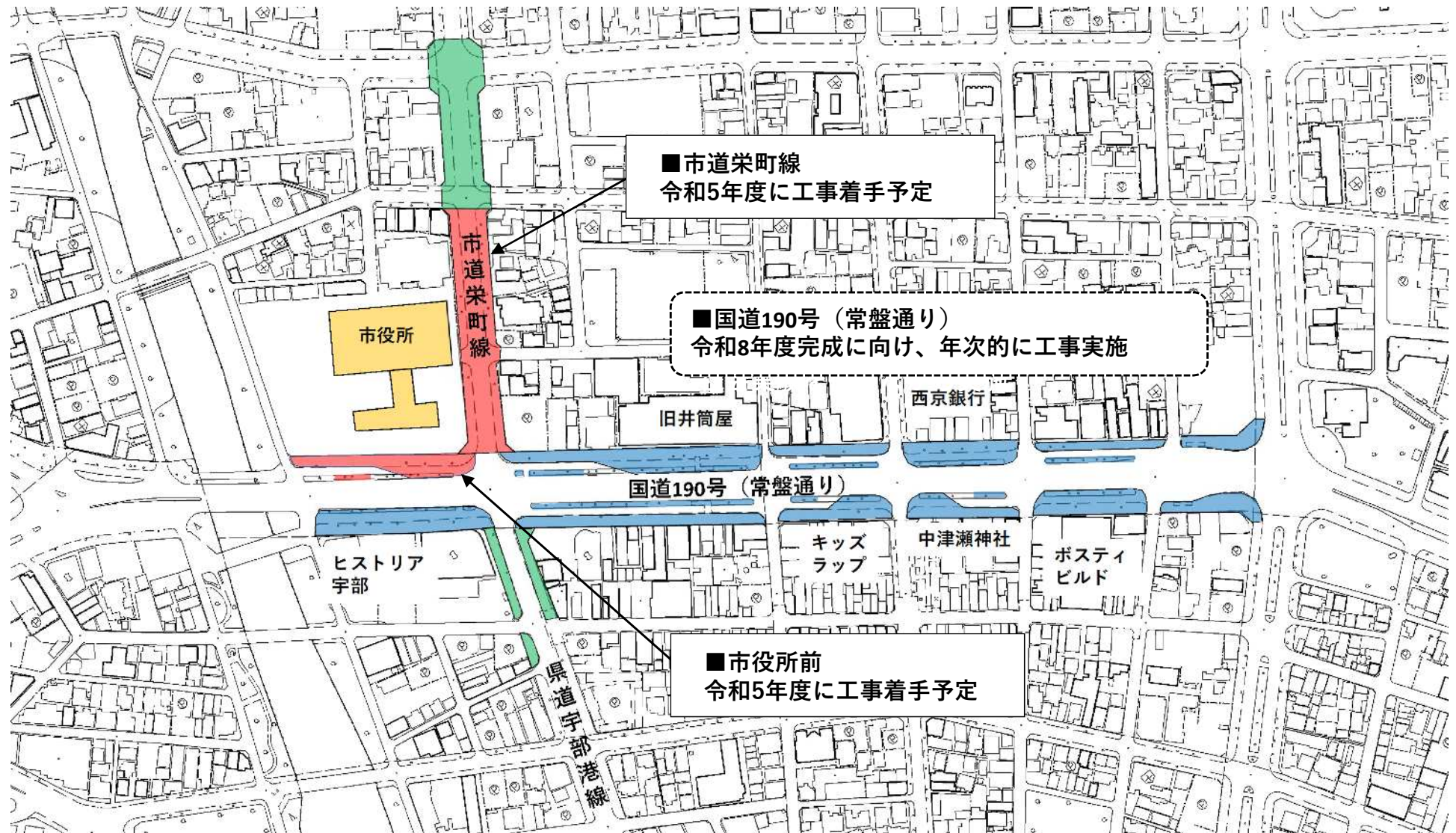


ウォーカブル推進協議会の既存のSNSアカウントを活用
実施設計のイメージ発信、新庁舎2期棟、にぎわい交流拠点も含め整備工事の現況等を随時発信（Instagramを想定）
ときわTerraceロゴ作成

【案】

3. 今後のスケジュール（案）について

令和5年度の工事予定



今後のスケジュール（予定）

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
協議会・部会					
実施設計					
社会実験					
工事					

	令和5年度（2023年度）												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
協議会			社会実験概要説明		社会実験内容報告						社会実験結果報告		
部会	適宜、実施設計や社会実験に係る検討												
実施設計													
社会実験			検討、準備		● 実施			● 宇部まつり		検証			
工事			パルクール 日本選手権			↪		常盤通り（市役所前） 市道栄町線					

※最新情報に更新

※ウォークブル推進協議会を令和5年度も継続

※国道190号（常盤通り）の整備は、市と国が共同で実施

宇部市議会 産業建設委員会

宇部市・山陽小野田市
水道事業広域化の検討状況について(報告)

令和5年(2023年)6月

宇部市水道局

水道事業広域化検討に係る経緯

2013年(平成25年) 4月	両市の事業管理者において、将来の広域化について調査研究することが確認された。
2013年(平成25年) 7月)	両市の中堅職員それぞれ4名で構成する水道事業広域化研究会を設置した。
2014年(平成26年) 7月	水道事業広域化研究会が一年間の調査研究の結果を報告書として取りまとめた。
2015年(平成27年) 2月	両市長会談により水道事業広域化を検討し推進することが確認された。
2015年(平成27年) 6月)	宇部市・山陽小野田市水道事業広域化検討委員会第1回会議を開催した。
2022年(令和4年) 10月	宇部市・山陽小野田市水道事業広域化検討委員会第15回会議を開催した。

両市の施設及び経営の状況

	宇部市		山陽小野田市	
通水開始	1927年(昭和2年)4月		1931年(昭和6年)4月	
浄水場	中山浄水場	広瀬浄水場	高天原浄水場	鴨庄浄水場
稼働年月	1927年(昭和2年)4月	1973年(昭和48年)6月	1949年(昭和24年)5月	1952年(昭和27年)6月
処理能力	34,000m ³ /日	86,000m ³ /日	32,500m ³ /日	15,800m ³ /日

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
施設利用率(%)		46.5	47.3	46.9	44.8	45.4	44.3	48.9	48.9	49.1	48.3	48.1	48.2
管路経年化率(%)		15.40	15.00	15.80	15.70	16.10	16.90	29.71	32.13	34.27	38.10	40.40	42.00
耐震化率	浄水場					-	51.70					-	-
	配水池					47.90	68.00					14.60	14.60
	管路	23.31	24.20	24.90	25.90	27.00	28.20	18.47	19.34	20.33	21.15	21.97	23.00

(注) 管路の耐震化率は、埋設されている地盤の性状(例えば軟弱地盤や液状化しやすい埋立地など)を勘案して算出した率(「耐震適合率」という。)

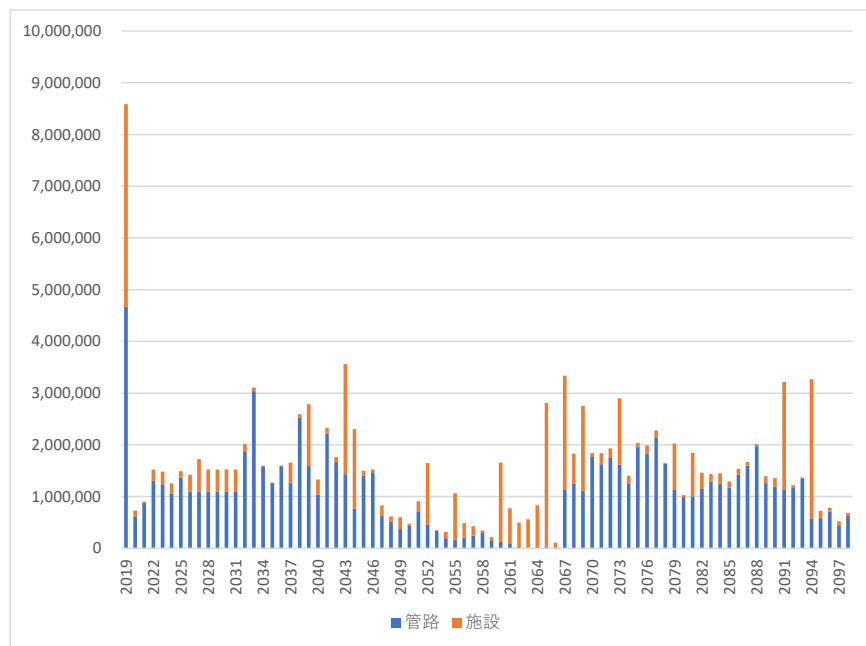
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
有収水量(千m ³)	18,613	18,561	18,395	18,097	18,185	17,834	7,455	7,457	7,426	7,302	7,316	7,250
水道料金(百万円)	3,476	3,480	3,460	3,403	3,390	3,336	1,312	1,318	1,318	1,302	1,293	1,294
有収率(%)	91.5	89.7	89.6	92.1	91.6	91.9	86.5	86.6	85.9	85.5	86.3	85.4
損益(百万円)	716	717	594	523	486	475	252	212	72	172	162	169
経常収支比率(%)	123.0	123.0	118.3	116.0	114.7	115.0	121.3	117.1	105.1	113.2	112.8	114.0
企業債残高対 給水収益比率(%)	303.9	294.4	286.6	287.2	286.9	280.0	399.0	392.8	383.0	372.1	372.6	366.3

両市の施設の更新需要額

宇部市の期間別の更新需要額

(単位 上段:千円、下段:%)

期間	2019～2058	2059～2098	2019～2098
管路	47,009,623	41,593,725	88,603,348
	53.1	46.9	100.0
施設	17,227,227	21,967,095	39,194,322
	44.0	56.0	100.0
計	64,236,850	63,560,820	127,797,670
	50.3	49.7	100.0

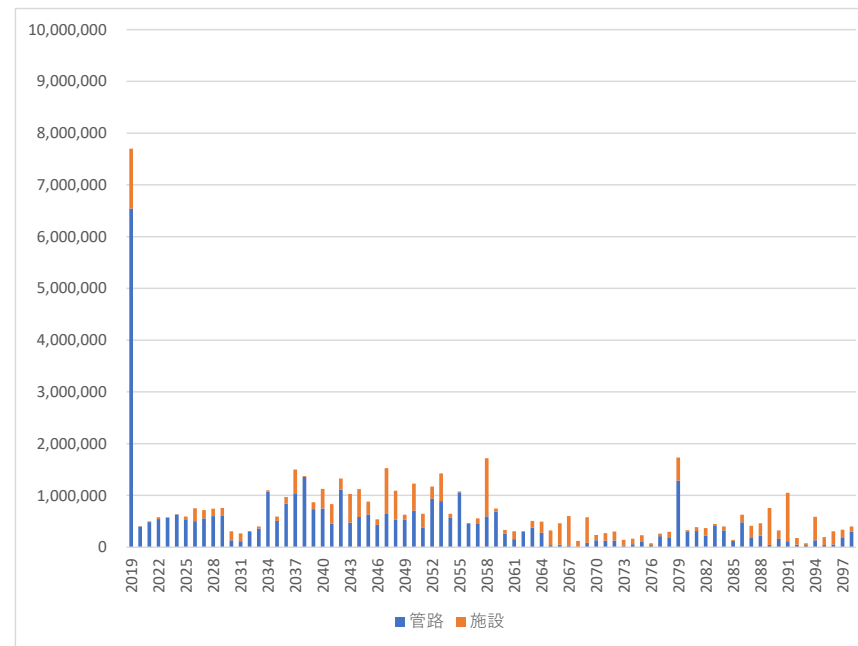


宇部市 更新需要額

山陽小野田市の期間別の更新需要額

(単位 上段:千円、下段:%)

期間	2019～2058	2059～2098	2019～2098
管路	30,634,384	8,332,032	38,966,416
	78.6	21.4	100.0
施設	10,068,869	7,972,906	18,041,775
	55.8	44.2	100.0
計	40,703,253	16,304,938	57,008,191
	71.4	28.6	100.0



山陽小野田市 更新需要額

- (注) ① 厚生労働省水道課が公表している「アセットマネジメント(簡易支援ツール)」を用いて、2019年3月末時点での資産を基に算出した。
 ② 施設の耐用年数は、地方公営企業法施行規則に定める耐用年数ではなく、厚生労働省水道課が公表している「実使用年数に基づく更新基準の設定例」を参考にし、両市で定めた。

検討委員会での確認事項 [その1]

1. 広域化の形態

- ① 両市の水道事業を所管する一部事務組合(企業団)を設置する。[地方公営企業法第39条の2]
- ② 両市の水道事業を統合し、新たな水道事業を創設する。
- ③ 財務会計は、セグメントにより整理する。[地方公営企業法施行規則第40条]

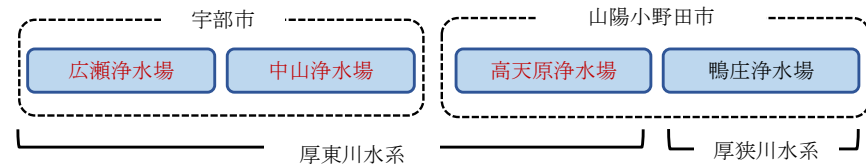
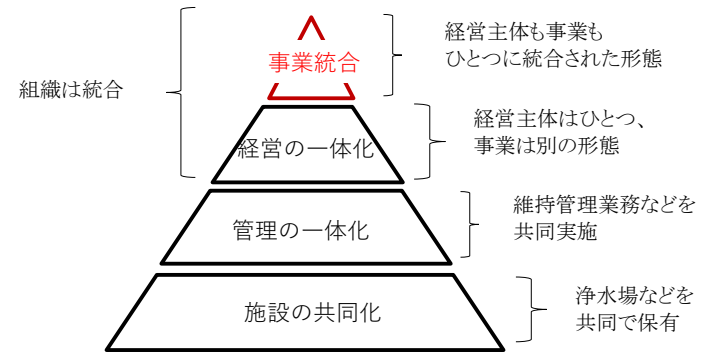
2. 水道料金

広域化時に、現行の宇部市の水道料金体系に統一する。
(山陽小野田市に、宇部市の水道料金体系を適用)

3. 浄水場の再編

厚東川水系の宇部市の広瀬浄水場、中山浄水場、山陽小野田市の高天原浄水場
 → 広域化後、高天原浄水場及び中山浄水場を順次廃止し、広瀬浄水場一か所とする。

《 広域化の形態の種類 》



4. 将来の更新需要額の比較 (60年間)

(単位: 百万円)

宇部市 山陽小野田市	広域(A)	単独(B)	差引 (A - B)
管路	92,038	95,304	-3,266
管路以外	42,320	44,778	-2,458
合計	134,358	140,082	-5,724

(単位: 百万円)

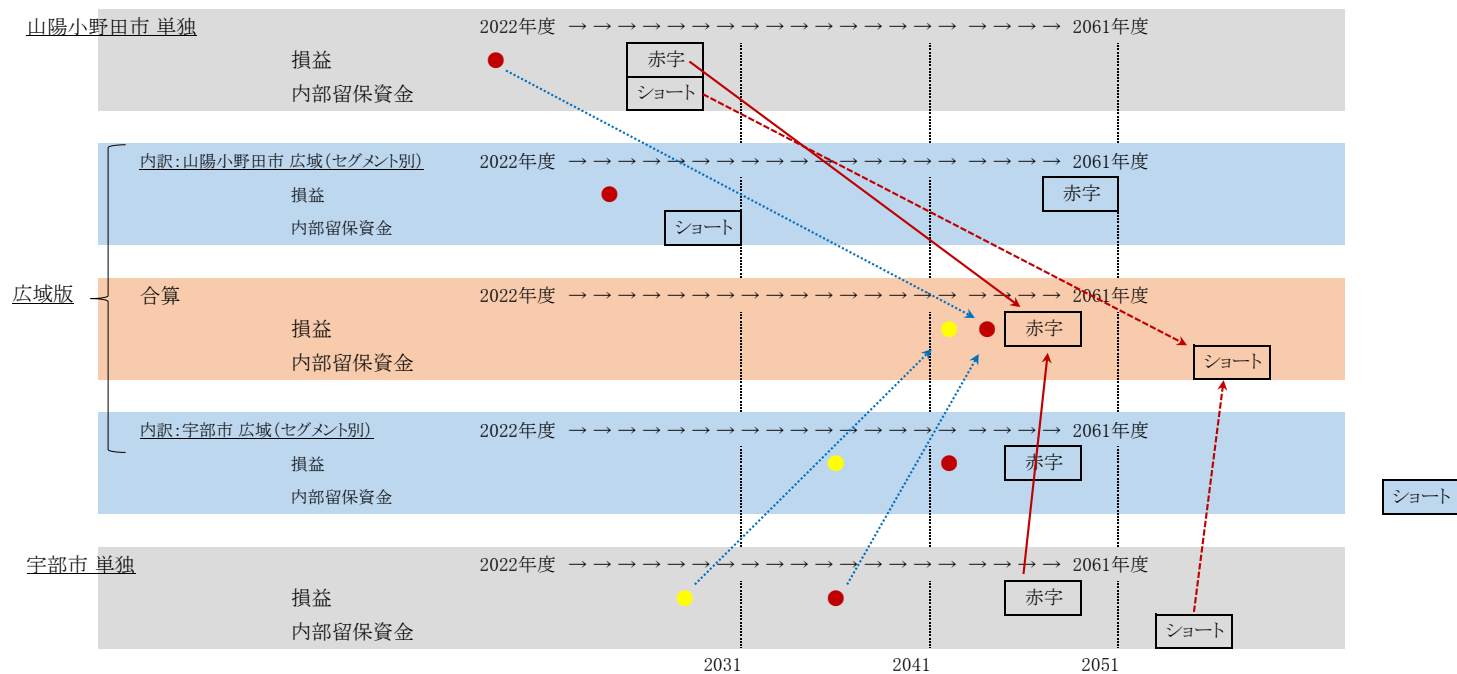
内訳	広域(A)	単独(B)	差引(A-B)
宇部市	64,178	65,184	-1,006
	27,922	31,206	-3,284
	92,101	96,391	-4,290
山陽小野田市	27,860	30,120	-2,260
	14,398	13,572	826
	42,258	43,692	-1,434

検討委員会での確認事項 [その2]

5. 財政シミュレーションの試算結果(2022年度～2061年度、40年間)

《試算条件》

- ① 給水人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計による。
- ② 有収水量は、実績を基に推計した。
- ③ 宇部市の福祉料金制度は、広域化では山陽小野田市にも適用した。
- ④ 職員数は、宇部市は90人、山陽小野田市は55人とした。
- ⑤ 広域化で見込める職員の削減25人は、宇部市9人、山陽小野田市16人とした。
山陽小野田市16人のうち11人は、高天原浄水場廃止による。
宇部市は、9人とは別に中山浄水場廃止により12人削減見込
- ⑥ 建設改良費は、既存の計画により計上した。
それ以降は、アセットマネジメントで算出した更新需要額により計上した。
更新需要額は、60年平準と80年平準それぞれで試算した。
- ⑦ 広域で共同使用する施設に係る建設改良費は、有収水量比で按分し計上した。
- ⑧ 企業債償還金、企業債利息は、40年償還で計上した。
- ⑨ 宇部市の水源かん養基金への積立は、廃止した。
- ⑩ その他は、実績を踏まえて計上した。



(注) ● … 損益の額が2億円以下となる時期
● … 損益の額が1億円以下となる時期

検討委員会での確認事項〔その3〕

6. 広域化後の組織に関する基本方針(案)

- ① 本局を宇部市に置き、山陽小野田市には総合支所(仮称)を置く。
- ② 市民サービスの低下を招かないよう組織を編成する。
- ③ 管理部門を統合するとともに広域化の効果を出すよう組織する。

7. 水質検査の共同化の実施

一部事務組合設置までに水質検査の共同化を令和4年(2022年)4月1日から実施する。

< < < < < < 現 行 > > > > >

宇部市		山陽小野田市	
検査の施設 名称 担当部署 職員数		高天原浄水場 浄水課 管理班 水質係 3名	
広瀬浄水場 浄水課水質係 4名		高天原浄水場 浄水課 管理班 水質係 3名	
水質検査項目 水質基準項目 (全51項目)		直営検査 50項目 委託検査 1項目	
直営検査 48項目 委託検査 3項目		直営検査 50項目 委託検査 1項目	
水質管理目標設定項目 (全27項目)		直営検査 24項目 委託検査 1項目	
直営検査 25項目 委託検査 2項目		直営検査 24項目 委託検査 1項目	
水質検査機器の台数 水質基準等検査機器 その他関連機器		37台 11台 26台	
50台 11台 39台		37台 11台 26台	
検査回数 (R2年度実績)		定期 2,170回 臨時 123回	
定期 1,744回 臨時 111回		定期 2,170回 臨時 123回	

水質検査共同実施の内容と効果

検査の施設

広瀬浄水場
(両市それぞれの身分を保持)
7名

水質検査項目

直営検査 51項目
委託検査 0項目

直営検査 25項目
委託検査 2項目

水質検査機器

必要な機器を広瀬浄水場に集約
それ以外の機器については随時、除却

検査回数

定期 約4,000回
臨時 約240回

* 臨時の検査は、年により増減する。

〔期待できる効果〕
検査場所、水質検査機器及び検査業務に従事する職員を一か所に集約することにより、以下の効果が期待できる。

- ・検査業務や検体の収集業務などの効率化
- ・水道水の安全・安心の確保に向け、より詳細な分析・予測、調査・研究への取り組み
- ・水質基準51項目全てを職員により検査できる体制に移行できることから水質事故の際にも迅速に検査を行うことが可能となり、早期に復旧に向けた取り組みにつながる。
- ・水質検査機器の更新費用

15年間の見込み 両市で約350,000千円

↓
1/2に削減

取水の現状<<宇部市・山陽小野田市>>

宇部市産業建設委員会
令和5年(2023年)6月

宇部市水道局

